Multi LABELIST V5 練習マニュアル 一基本操作編一 第4版

株式会社サトー

2019年8月16日

ご注意

- 本マニュアルの一部または全部を弊社の許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- 本マニュアルの内容は、訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- 本マニュアルを運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- SATO、Multi LABELIST は、サトーホールディングス株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

ご注意	2
目次	3
はじめに	6
練習に入る前に	6
1:基本設定と文字作成	7
1.レイアウト新規作成(ラベルデザインの作成)	7
2. サンプルレイアウトの利用	9
3. プリンタの設定	1 1
4. 用紙の設定	1 2
5. 文字の作成	1 3
6. レイアウトの保存と ML デザインの終了	16
7.レイアウトの発行	17
知っておくと便利な機能	18
1. 印字位置合わせ機能	18
2:入力項目の作成と発行画面の作成	19
1. レイアウトを開く	19
2. 変数の作成	22
3. 変数の割り当て	25
方法1:変数一覧からドラッグ&ドロップ	25
方法2:プロパティウィンドウから選択	26
変数の割り当て	28
4. レイアウトの保存	29
5. 発行画面の作成	30
6. レイアウトの発行	35
3: 色々な文字を作りましょう	36
1. 固定の文字	36
2. 文字や設計画面の回転	39

	з.	文字の改行	44
		■貼付文字の場合	44
		■入力変数文字の場合	48
	4.	文字の編集	50
		■カンマ編集、通貨編集	50
		■前ゼロ編集	53
		■編集結果のプレビュー	54
	5.	文字の複写	55
		■編集前複写	56
		■編集後複写	57
	6.	印字結果の確認	60
	知日	っておくと便利な機能	61
		■レイアウトファイルから画面を開く	61
4	- : /	バーコードの作成と様々な設定	62
	1.	バーコードの作成	62
		JAN/EAN コード	62
		CODE39	66
	2.	結合	69
		■結合を使用したJANコードの作成	69
	З.	連番	74
	4.	グラフィック	77
	5.	日時	80
5	;;j	テーブルを作成しましょう	86
	1.	テーブルの作成	86
	2.	テーブルの変数を作成する	89
	З.	レイアウトデザインにテーブルを反映する	91
	4.	テーブル項目を入力して印字する	93
6	;:フ	ヘカチェックテーブル機能を設定しましょう	95
	1.	チェックテーブルの作成	95

2.	チェックテーブルの変数を作成する	98
З.	レイアウトデザインに作成した変数を反映する	100
4.	入力チェック設定を行う	102
5.	発行画面で入力チェック機能を確認する	105

はじめに

Multi LABELIST V5 は簡単にタグやラベルのレイアウトをデザインし発行出来ます。 ここではラベルデザインを作る練習、また様々な発行機能を利用するための設定の練習を行います。 Multi LABELIST V5 を最大限にご活用いただくための大切な練習ですので、是非行ってください。 なお、製品版付属の Multi LABELIST V5 用起動アダプター「HASP」を使用して頂かないとソ フトは正常に動作しません。

練習に入る前に

プログラムのインストールは済みましたか? Multi LABELIST V5 は起動できましたか? HASP を接続していないと正常に動作しません。出来ていない場合はスタートアップガイドを参 照しましょう。

それではさっそく作成練習を始めましょう。

1:基本設定と文字作成

基本操作編では練習用サンプルレイアウトに沿ってレイアウトを作成してみましょう。 基本となる設定ですので1つ1つ理解しながら進めてまいりましょう。

■練習用サンプルレイアウト
 プリンタ機種 : L'esprit(レスプリ)T408v/R408v
 名称 : 名前ラベル
 ラベルサイズ : 縦 45mm、横 70mm
 印字内容 : 「会社名」「名前」「電話番号」を印字

株式会社サトー	-
佐藤	太郎
0 ⁷	120-567-310

上記のようなサンプルレイアウトの作成説明を行います。 それでは始めましょう。

1. レイアウト新規作成(ラベルデザインの作成)

Windows スタートメニュー>すべてのプログラム>Multi LABELIST V5の **D** MLデザイン を選択します。

パスワードを聞いてきますので「user」と入力してください。 「OK」ボタンをクリックすると、ML デザインの画面が表示されます。

MLデザインを起動します。 管理者パスワードを入力してください。
パスワード(P): ••••
OK キャンセル

レイアウトデザイン画面が起動します。

□ ►	
	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
う元に戻す・ ※ 切り取り ※ 削除 □ ① ① <th》< th=""> ①<!--</th--><th></th></th》<>	
☆オブジェクト 4 デザイン 入力定義 表形式	
▶ 選択 -40 -30 -20 -10 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90	
▲ 文字 ● 川川 バーコード ● 2次元コード ● ジラフィック ● 公 図形 ● 書 ● 10 □ □ □	基本設定
50 50 50 レスプリT408v/R408v 大道加 編集 挿入 切り取り コピー 貼り付け 削除 (検索: 変数名の一部を入力してください) 130% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
 変数名 区分 桁数 詳細 ▲ ローカル安数一覧 込 ローカルテーブル一覧 ば ローカルチェックテーブル一覧 □ローカルグラフィック一覧 	レイアウト レイアウトを設定します。

2. サンプルレイアウトの利用

ファイルメニューから「新規作成」の「レイアウト(サンプルフォーマット指定)」を選択します。

	- 🗐 🤊 - C			(レイアウト) - SATO Multi LABELIST V5 Enterprise[ML	デザ1
	'Л/ —				
	新規作成 ファイルを新規に作成します。	Ctrl+N 🕨	A	レイアウト レイアウトを新規に作成します。	mr
	開く 既存ファイルを開きます。	Ctrl+O ►	A	レイアウト(サンプルフォーマット指定) サンプルフォーマットを指定してレイアウトを新規に作成します。	標単
	上書き保存 ファイルを保存します。	Ctrl+S	Head	ヘッダ・テール札 ヘッダ・テール札を新規に作成します。	示詞
	名前を付けて保存 ファイルに名前を付けて保存します。	Ctrl+Shift+S	abc IIIIIII	グローバル情報 グローバル情報を新規に作成します。	
0	ファイル情報 ファイルの情報を表示および編集しま	す。		グローバルテーブル グローバルテーブルを新規に作成します。	
	閉じる ファイルを閉じます。		Ì	グローバルチェックテーブル グローバルチェックテーブルを新規に作成します。	
0	最近使用したファイル	•			
	オプション オプションを表示および編集します。				
?	ヘルプ ヘルプを表示します。	F1 🕨			
Ż	終了 アプリケーションを終了します。				
ESC	コマンド 40				

▶ レイアウト新規作成(サンプルフォーマット指定) ? Х サンプルフォーマットを指定して、レイアウトを新規作成します。条件を指定した絞り込み検索が可能です。 検索条件(AND条件) × • アイコン表示 . JANコードラベル J A N1-SATOC PDラベル3-スキャントロニクス(4インチ) 12 19542-5 株式会社文1---12121 78912 1 / リテールJAN 物流 PDラベル SATOC(サトック)ST308R スキャントロニクス SG408R 2 1234 ¥200, 000 25x32 35x65 1234 朝林ンター 納思日 20130926 PDラベル4-スキャントロニクス(4インチ) 5678 サー蔀 物流 PDラベル スキャントロニクス SG408R (363310) 大車輪 789123 サトー百貨店 60x92 SCMラベル4-スキャントロニクス(4インチ) 物流 SCMラベル スキャントロニクス SG408R 60x92 OK キャンセル

サンプルを選択して、「OK」ボタンをクリックします。

選択したサンプルレイアウトが利用できます。



3. プリンタの設定

印字するプリンタの設定を行います。

プロパティウィンドウ「基本設定」で「プリンタ機種」でプリンタを選択します。 ここでは「L'esprit(レスプリ)T408v/R408v」を選択します。 実際にはお手元のプリンタ機種を選択してください。

※「プリンタ機種選択」の画面が表示されるまで数秒かかる場合があります。



プリンタを選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。



4. 用紙の設定

それでは練習用のサンプルレイアウトのラベル用紙を設定します。 サンプルは縦 45mm、横 70mm です。 用紙サイズに縦、横の値を入力してください。

<i>ℰ</i> プロ	パティ	щ	
レイア	ל <i>ר</i>	3	
基本設定	Ê.	*	
プリン	夕機種:		
L'espr	it(レスプリ)T408v/R408v		
用紙:	フリーサイズ(ラベル)・		
センサ	サタイプ: アイマークラベル	•	
の用紙さ	オイズ		
縦:	50 📜 (mm) 1.9685 (インチ)		
橫:	85 🛟 (mm) 3.3465 (インチ)		
グロ-	-バル情報ファイル名:		

入力できましたか?

入力値に合わせてラベルイメージの大きさが変更されます。



5. 文字の作成

オブジェクトバーの「文字 - 貼付」をクリックします。



デザイン画面で文字を作成したい場所をクリックしてください。



文字列オブジェクトを選択している状態ならプロパティウィンドウの「基本設定」の「フォント」 でフォント種や文字サイズの設定ができます。

デザイン 入力定義 表形式	ชาวิ่อเ/ริ่า ₽
	文字 🕜
	基本設定 《
-10	項目名: 文字-1
	<u><u></u>7-9</u>
	E
20	※[Ctrl+Enter]キーで改行します。
	7*2
30	種別: Windowsフォント
	M S ゴシック -
	サイズ(pt)
	高さ: 9 - 幅: 自動 -
	B <u>I</u> <u>U</u> 会 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
60	■ 領域を指定する

サンプルレイアウトには会社名が漢字で表示されています。 漢字が表現できる文字種に変えましょう。

株式会社サトー
佐藤 太郎 0120-567-310

ここでは、Windows フォントから「MSPゴシック」を選択します。

フォント		
種別: Windowsフォント <		
MS P ゴシック ・		
サイズ(pt)		
高さ: 9 - 幅: 自動 -		
BIUAAB7 詳細設定	ĺ	

「エラー」となっている文字列をダブルクリックし、会社名を入力します。

17-	株式会社

入力し Enter を押して決定すると、ラベル用紙イメージに会社名が表示されます。

株式	会 <mark>社サトー</mark>	

表示されましたか?

それでは同様に名前と電話番号を入力しましょう。 設定できたら以下の完成例と比べてみてください。

株式会社サトー	
佐藤 太郎 0120-567-310	

完成しましたか?

以上でレイアウトのデザイン作成は終了です。

6. レイアウトの保存と ML デザインの終了

ファイルメニューから「上書き保存」を選択し、「名前ラベル」と名前をつけて任意の場所に保存してください。保存したファイルは後ほどまた使用します。



ファイルメニューの中から、「終了」を選択し、ML デザインを終了させてください。 お疲れ様でした。

7. レイアウトの発行

先ほど保存した「名前ラベル.mllayx」ファイルをダブルクリックし、ML プリントを起動します。

発行枚数を入力し、「発行開始」ボタンをクリックします。



発行出来ましたか?

以上で「<u>1:基本設定と文字作成</u>」は終了です。

知っておくと便利な機能

1. 印字位置合わせ機能

複数の印字項目を1つのボタンで先頭や中央に合わせる事が出来ます。

それでは、確認してみましょう。マウスをドラッグして印字を合わせたい項目を複数選択します。



リボンの位置メニューから「左揃え」をクリックします。



2つの印字項目の先頭位置が合いましたか? その他のボタンでも確認してみましょう。

株	ミ式会社サトー	
	佐藤 太郎 0120-5 <mark>67-310</mark>	

2:入力項目の作成と発行画面の作成

この章では「<u>1:基本設定と文字作成</u>」で行ったことを踏まえて次のステップへと進みましょう。 また「<u>1:基本設定と文字作成</u>」で行ったことを忘れたときは振りかえってみましょう。

練習用サンプルレイアウトは引き続き「<u>1:基本設定と文字作成</u>」で作成したものを使用します。 「<u>1:基本設定と文字作成</u>」ではサンプルレイアウト(「名前ラベル」)上に直接、文字を作成し ましたが、この章では発行する際に、会社名と名前と電話番号を入力するよう変更してみましょう。

■練習用サンプルレイアウト
 プリンタ機種 : L'esprit(レスプリ)T408v/R408v
 名称 : 名前ラベル2
 ラベルサイズ : 縦 45mm、横 70mm
 印字内容 : 「会社名」「名前」「電話番号」を入力して印字

株式会社サトー

佐藤 太郎 0120-567-310

上記のようなサンプルレイアウトの説明を行います。 それでは始めましょう。

1. レイアウトを開く

Windows スタートメニュー>すべてのプログラム>Multi LABELIST V5の **D** MLデザイン を選択します。

パスワードを聞いてきますので「user」と入力してください。 「OK」ボタンをクリックすると、ML デザインの画面が表示されます。

□ パスワードの確認	? X
MLデザインを起動します。 管理者パスワードを入力してください。	
パスワード(P): ••••	
ОК	ヤンセル

ファイルメニューから「開く - レイアウト」をクリックします。



「1:基本設定と文字作成」で作成したレイアウトを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

□開<			×
	ジリ 🕨 ドキュメント 🔸 SATO	▼ 4 SATOの検索	م
整理 ▼ 新しいフォル	ダー	:== :==	• 🔟 🔞
☆ お気に入り ↓ ダウンロード	ドキュメント ライブラリ SATO	並べ替え: 1	フォルダー 🔻
📃 デスクトップ	名前	更新日時	種類
最近表示した場! ■	11 名前ラベル.mllayx	2013/01/11 17:35	MLレイアウトフ.
 ▲ SkyDrive ⇒ ライブラリ ■ ドキュメント ■ ピクチャ ■ ピアオ ▲ ミュージック 			
•	•		Þ
77.	イル名(<u>N</u>): 名前ラベル.mllayx	 すべてのMLファ- 開く(0) 	イル (*.mllay マ キャンセル .d

「1:基本設定と文字作成」で作成したレイアウトが表示されます。

D 🗁 • 🛢 🤊 • 🤆 • •	名前ラベル(レイアウト)* - SATO Multi LABELIST V5 Standard[MLデザイ	
ニファイル ホーム デザイン		۵
 うたに戻す。 べ切り取り 前除 ごっピー 読り付け 編集 	・ ・ ・ ・ ・ </th <th>ξ.</th>	ξ.
☆オブジェクト 単 デザイン	入力定義 表形式	
遊沢 ▲ 文字 ● 「」」 ● □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	-10 0 10 20 30 40 50 50 70 90 株式会社サトー 佐藤 太良N 0120-567-310	 レイアウト 基本設定 ブリンタ機種: レスプリT408v/R408v 用紙: フリーサイズ(ラペル) センサタイブ: アイマークラペル 用紙サイズ 報: 45 : (mm) 1.7717 (インチ) 様: 70 : (mm) 2.7559 (インチ) グローノいし情報ファイル名: ・・・ 詳細設定
□ーカル変数一覧		#
□ 11 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13	検索: 変数名の一部を入力してください マン	
変数名 区分 杯	数 詳細	
第ローカル変数一覧 込 ローカルテーブルー覧	近 ローカルチェックテーブル一覧 「コローカルグラフィック一覧」	v v v v v v v v v v v v v v v v

表示されましたか?

それでは、次のステップに進みましょう。

2. 変数の作成

今から作成するレイアウトは、「会社名」と「名前」と「電話番号」を入力して発行します。 ここでは、入力する内容の作成・設定を行います。

変数の画面を開きましょう。

画面下部の「ローカル変数一覧」で「追加」ボタンをクリックします。

* C	コーカル	/変数一	覧										4
L 追加	们 編集	ゴ挿入	※ 切り取り	D) 24-	『 貼り付け	≫ 削除	検索:	変数名の一	一部を入力し	てください	•	? ヘルプ	
変	数名		区分	†	桁	·数		詳細					
													*
													•
	コーカノ	変数一	覧≌□	コーカルテ	ーブル一覧	i 14	ローカル	/チェックラ	=ーブル一覧	ニローカ	ルグラフィッ	ック一覧	

Multi LABELIST V5 には「グローバル変数」と「ローカル変数」があります。 「ローカル変数」は、現在作成しているレイアウトでしか使用できない固有の情報です。レ イアウトファイルに保存されます。

「グローバル変数」は、ほかのレイアウトからでも使用できるグローバルな情報です。レイ アウトとは異なる単体のグローバル情報ファイルに保存されます。



変数は種類により設定内容が異なります。

種類	説明
入力	品名や価格など、発行時に入力したい文字項目の変数を設定できます。
複写	別の変数を複写した変数を設定できます。「編集前/編集後」を切り替えるこ とで元の変数の値そのものを複写するか、カンマ編集などの編集を含めた複写 をするか指定できます。
結合	固定値や変数を結合した変数を設定できます。
連番	1 ずつカウントアップや、2 ずつカウントダウンなど条件設定を含めた変数を 設定できます。
日時	現在の日時や、経過値を加算した日時などの変数を設定できます。
計算	四則演算など計算式の変数を設定できます。
シンボル	GS1-128 バーコードなどアプリケーション識別子(AI)をデータ中にセット する特殊なシンボル用の変数を設定できます。

今回の練習では、入力変数を使用します。

変数の種類で「入力」、入力変数種類で「文字」を選択し、変数名に「会社名」、桁数に「20」 を入力して、「OK」ボタンをクリックします。

D	的設定							? 💌
変数	変数の設定を行います。							
	入力	入力変数	(種類(<u>K)</u> : 文字	•				
IT	複写	編集パき	ラメータ					
н	結合	順序	編集内容	設定内容		設定詳細		
	連番	•	1 テーブル変換	なし				*
	日時		2 税編集	なし	•			
LB.	= 1 6007		3 カンマ編集	なし	•			
H	訂昇		4 ¥編集	なし	•			
	シンボル		5 前世口補塩	なし	•			
19				0.0				
								-
		***	÷.		7			
		対象ス	<i>+</i> :		_			
		変数名:	会社名				析数:	20 *
							ОК	キャンセル

ローカル変数画面に入力変数が表示されます。

🔐 ローカル変数一覧					4
 「「」」」 「」」 「」 」 」<th>🖌 🖒 🖺 O取り コピー 貼り付</th><th>業 は 前除 検索: 変数</th><th>名の一部を入力してく</th><th>ださい</th><th></th>	🖌 🖒 🖺 O取り コピー 貼り付	業 は 前除 検索: 変数	名の一部を入力してく	ださい	
変数名	区分	桁数	詳細		
▶ 🛺 会社名	入力	20	入力種類:文字		*
					•
1111日 111日 111日 111日 111日 111日 111日 11	😫 ローカルテーブル-	-覧 🗳 ローカルチェ	ックテーブル一覧 📃	ローカルグラフィック一覧	

表示はされましたか?

同じ手順で「名前(10桁)」、「電話番号(12桁)」を作成して下さい。

2つの変数項目を設定すると以下の画面になります。

🔐 ローカル変数一覧				д .
□ 11 01 追加編集挿入切		業 検索: 変数 け 削除	名の一部を入力してく	ださい
変数名	区分	桁数	詳細	
	入力	20	入力種類:文字	A
ℳ 名前	入力	10	入力種類:文字	
▶ 🖉 電話番号	入力	12	入力種類:文字	
				•
	🛓 ローカルテーブル-	-覧 🗳 ローカルチェ	ックテーブル一覧 🗔	ローカルグラフィック一覧

表示はされましたか?

この変数を使用して、練習を進めます。

3. 変数の割り当て

「1:基本設定と文字作成」で作成したレイアウトと、今作成した変数とを関連付けます。

設定した変数を表示します。

方法1:変数一覧からドラッグ&ドロップ

変数一覧の「会社名」をクリックした状態で、割り付けたいオブジェクトまでマウスをドラッグすると、オブジェクトが黄緑色の枠線に変わるので、そのタイミングでマウスを離すと、ドラッグした変数が割付きます。



「????・・・」という表示に変わります。



方法2:プロパティウィンドウから選択

対象のオブジェクトをクリックします。



プロパティウィンドウの「基本設定」で、データを「変数」に変更し、変数名をクリックします。

基本設定 🔦
項目名: 文字-1
データ
変数 ▼
変数名:
補填 前: 後:
フォント
種別: Windowsフォント ・
MS Pゴシック ・
サイズ(pt)
高さ: 12 ・ 幅: 自動 ・
🔲 領域を指定する

変数選択ダイアログが表示されるので、紐付ける変数を選択し、「選択」ボタンをクリックします。

D	変数選択				? 🗙
ሟ	数を選択します。				
	ローカル変数	•			
1	検索条件(AND条件	¢)			*
	変数名	区分	桁数	詳細	
	• 会社名	入力	20	入力種類:文字	*
	名前	入力	10	入力種類:文字	
	電話番号	入力	12	入力種類:文字	
					Ţ
			新規作成(<u>C</u>)	選択(<u>L)</u>	キャンセル

選択した変数が文字オブジェクトに割付きます

基本設定
項目名: 文字-1
データ
変数 ▼
変数名: (ローカル)会社名 …
補填 前: 後:
フォント
種別: Windowsフォント ・
MS Pゴシック ・
サイズ(pt)
高さ: 12 ・ 幅: 自動 ・
🔲 領域を指定する —————

変数の割り当て

<u>方法1</u>または<u>方法2</u>と同じ方法で「名前」と「電話番号」も変数の割付を行ってください。

デザイン作成画面が以下のようになりましたか?

D 🖻 • 🖶 🤊 • 🤆 • •	名前ラベル(レイアウト)* - SATO Multi L	ABELIST V5 Standard[MLデザイン]		×
ニファイル ホーム デザイン				۵
 ラ元に戻す・ X切り取り ※ 削除 ごコピー 協助り付け 編集 	R 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	表示項目 座標単位 用紙回転 表示設定		
※オブジェクト ^単 デザイ	ン入力定義表形式		イ プロパティ	ц.
	20 -10 0 10 20 30 40		レイアウト 基本設定	• •
A 文字 → Image: Unit of the state →			プリンタ機種: レスプリT408v/R408v	
2次元コード ▶ 10 10 グラフィック	???????????????????????????????????????		用紙: フリーサイズ(ラベル)	•
20 20 30	?????????? ??????????????????????????		E255517. アイマ 255 00 用紙サイズ 縦: 45 ↓ (mm) 1.7717 (インヂ)	
● 白黒反転 40 <u>■</u>			(福: 70 (mm) 2.7559 (インナ) グローバル情報ファイル名:	
50	Y: 25.3750, X: -20.3750 件数:	0/3 116% 💬 💭 🕂	· 詳細設定	 ×
☆ ローカル変数一覧		д		
	検索: 変数名の一部を入力してください 前除			
変数名区分	桁数詳細			
	20 入力種類:文字	*		
	10 人刀裡類:文子			
			レイアウト	_
	見 賞 ローカルチェックナーフル一見 国ローカ	ルノフノイック一見	レイアウトを設定します。	

以上で、デザインの作成は終了です。

では、実際に発行する発行画面の作成に移ります。

4. レイアウトの保存

今回開いたレイアウト「名前ラベル.mllayx」を「名前ラベル2.mllayx」に変更して保存してみましょう。

ファイルメニューから「名前を付けて保存」を選択します。



ファイル名を入力し「保存」ボタンをクリックすると、変更した名前で保存されます。

□ 名前を付けて保存			×
	ント → マイドキュメント → SATO	▼ f	٩
整理 ▼ 新しいフォル	ダー		:= • 🔞
☆ お気に入り ↓ ダウンロード	ドキュメント ライブラリ sato	並べ替え:	フォルダー ▼
📃 デスクトップ 🗉	名前	更新日時	種類
🗐 最近表示した場所 🝊 SkyDrive	^じ 名前ラベル.mllayx	2013/01/11 17:35	MLレイアウトフ
🍃 ライブラリ			
📑 ドキュメント			
📔 ピクチャ			
ビデオ 🔻	<		4
ファイル名(<u>N</u>) 名前:	ラベル2.mllayx		•
ファイルの種類(I): レイフ	アウト (*.mllayx)		▼
● フォルダーの非表示		保存(<u>S</u>)	キャンセル

5. 発行画面の作成

発行画面の作成を行います。

発行画面作成への切り替えは、レイアウトデザイン画面の左上にある「入力定義」 タブをクリック します。また、発行画面作成から「デザイン」 タブをクリックすると。レイアウトデザインの画面 に切り替わります。

		能直			/	-A									
・ デザイン	入力定義	表形式													C
会社名			之前		雷廷的	£⊟									
五山石						4 7.		•••	::	::	:::		::	::	
	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXX	. <mark>4</mark> 0000	XXXXXX	: <mark>S</mark> XXX	XXXX	XXX	x	•••	•••	•••		• •	•••	
1			:		·				::	::	:::		::	::	
						• • •	• • •	• •	• •	••	•••	•••	• •	• •	
						:::		::	::				::	::	
					::::	:::	• • •	::	•••	•••	•••	• • •	::	::	
								•••	•••	•••	•••		• •	•••	
			::::		::::	:::	:::	::	::	::	:::		::	::	
										<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			
No.	発行枚数														
1	100000														
1	~~~~~														
2	4														
														-	
									-		_	_			
未選択					┣標準	(100%	6) 1(00%	Ξ		_	E		Ð	
					_					1					
		+													
デザイン	入力定義	表形式													
デザイン	入力定義 o lo	表形式 10	20	30	140		150		60		lz	70		lso	
デザイン 1	入力定義 3	表形式 10	20	30	40		50	1	60		, ⁷	70		80	
デザイン -1	入力定義 7	表形式 10	20	30	40		50	1	60	ulı	7	70		80	
デザイン 1 -1 -1	入力定義 o o	表形式 10	20	30	40		50	1	60	ulı	111	70	1	80	
デザイン 1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表形式 10	20	30	40		50	1	60	ulı	;	70		80	ılıı
デザイン 1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表形式 10	20	30	40 		50	1	60	ulı		70		80	ılıı
デザイン 1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	表形式 10	20	30	40		50	1	60	ulı		70		80	ılıı
デザイン 1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表形式 10	20 	30	40		50	1	60			70		80	ılıı
デザイン 10	入力定義 0 0 11111111111111111111111111111111	表形式 10 2777	20 	30	40 11111 11		50	1	60			70		80	ılıı
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表形式 ¹⁰ ????	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	30 ??????	40 1	 ???	50	1	60			70	1	80	ılıı
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表形式 ¹⁰ ????	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	30 ??????	40 9 9 ?????		50	1	60			70	luu	80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表形式 ¹⁰ ????	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	30 ??????	40 1111		50	1	60			70		80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表形式 ¹⁰ ????	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	30 ??????	9 9 9 7 ? ? ? ?		50	1	60			70		80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表形式 ¹⁰ ????	?????	30 ?????	2????		50	1	60			70		80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0	¹⁰ ?????	??????????????????????????????????????	30 ????????????????????????????????????	2?????		50	1	60			70		80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	表形式 ¹⁰ ???? ?	??????????????????????????????????????	30 ????????????????????????????????????	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		50	1	60			70		80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表形式 ¹⁰ ???? ?	??????????????????????????????????????	30 ????????????????????????????????????	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		50	1	60			70		80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	¹⁰ ?????	??????????????????????????????????????	30 ????????????????????????????????????	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		50	1	60			70		80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表形式 ¹⁰ ???? ?	??????????????????????????????????????	30 ????????????????????????????????????	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		50	1	60			70		80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 ⁰ ⁰ ¹	¹⁰ ????? ?????	??????????????????????????????????????	30 ????????????????????????????????????	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		50	1	60			70		80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 ⁰ ⁰ ¹	¹⁰ ????? ?????	??????????????????????????????????????	30 ????????????????????????????????????	•••• •••••• ••••••••••••••••••••••••••		50		60			70		80	
デザイン -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	入力定義 ⁰ ⁰ ¹	表形式 ¹⁰ ???? ?	??????????????????????????????????????	30 ????????????????????????????????????	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		50		60			70		80	

上の画面が表示されましたか?

発行画面作成画面から作業を進めます。

実際に業務でラベル発行する場合は、デザインを意識せず、データを入力し発行枚数を決めて、発行指示を行います。よって、デザインとは独立した発行画面を作成することにより、より早く簡単に発行できます。

では実際に発行画面を作成してみましょう。

「会社名」と「名前」と「電話番号」がヘッダ部に表示されています。

この3つの入力項目を行部へ移動させましょう。

		ヘッダ
🎘 オブジェクト	・ デザイン 入力定義 表形式	
▶ 選択	· 会社名: · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
A 文字		
🗾 イメージ		
XX ボタン	No. 発行枚数	
直線	1 XXXXXXX	4
四角形	2 4	
		行

入力項目の位置が「ヘッダ」と「行」の場合で動作が異なります。 「ヘッダ」にある項目は、すべての「行」に対して付加されます。

例として下記の発行画面は同じ値が入力されています。



入力項目をヘッダから行へ移動させてみましょう。

「会社名」をクリックしてから、行部へドラッグ&ドロップします。

デザイン	/ 入力	」定義	1 T	長形式																							
会社名 1 xxxxxx	×××××	xxxo	0000	××××		名i <mark>2</mark> x	前 XX	xx	xx	xx	×	1	∎ä ××	f播 次〉	号 (X)	00	~	××	: x		•			•	•		
		:::	::		: :	:	: :	:	: :	: :		:	: :	:	: :	:		:	:	:	:	: :	:	:	 :	:	
No.	発行	嬱																									
1	xxxx	xx																									*
2	4																										

以下の図のようになりましたか?

デザイン	入力定義	奏 表形式														
			名前 <mark>1</mark> xxxxx	xxxxx	×× :	電話 <mark>2</mark> xxx	斷号 XXX	000	xx	xx						
No.	発行枚数	会社名	_	_			_	-	-		-					-
1	XXXXXX	XXXXXXXX	xxxxx	$\infty \infty$	xx											*
2	3	4														

続いて同じ要領で「名前」「電話番号」の項目も行部へ移動してください。

デザイ	イン	入力定義	義 表形式											
							 			::	::			
::::				:::::	:::::		 :::	:::	::	::	::	: :		::
							 		•••	•••	•••			•••
				:::::			 :::	:::	::	::	::	::		::
	•••						 • • •		•••	::	•••	• •	•	•••
							 		::		::			
	•••						 		• •	• •	• •	• •	•	•••
							 						•	
No.		発行枚数	会社名			名前	 電話	番号	•••				-	•••
No.	1	発行枚数 XXXXXXX	会社名 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>			名前 XXXX	 电話 XXX	···· 番号 XXX	×××	xx	 ×		-	· ·
No.	1 2	発行枚数 XXXXXXX 1	会社名 ××××××××××××××××××××××××××××××××××××	00000000		名前 XXXXX 3	 電話 XXX 4	番号 XXX	 xxx	 xx	 x		•	
No.	1	発行枚数 XXXXXX 1	会社名 ××××××××××××××××××××××××××××××××××××	0000000	××××××	名前 XXXXX 3	 電話 XXX 4	番号 XXXX	••••	xx	×		•	· ·
No.	1	発行枚数 >>>>>>>> 1	会社名 ××××××××××××××××××××××××××××××××××××	0000000	××××××	名前 XXXXX 3	 电話 XXX 4	···· 番号 XXX	×xx	 xx	×	•••	•	· · ·

次に、入力項目を並び替えてみましょう。

「会社名」の入力項目を発行枚数の左側に移動させましょう。

「会社名」のタイトル行をクリックし、「発行枚数」の上へドラッグ&ドロップします。

	デザイ	シ	入力定家	褒 表形式			
• •	• • •	• •					
::		::					
: :	:::	: :					
	• • •	• •					
11	:::	::					
• •	• • •	• •					
	<u> </u>		<u></u>	<u> </u>	<u></u>	<u> </u>	
	No.		発行枚数	会社名	名前	電話番号	
		1	XXXXXX	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	XXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXX	*
		2	1	2	3	4	
							-

以下の図ようになりましたか?

5	デザイン	入力定義	表形式				
Ė				704-4 5 -85	2 益	电 注至日	
	NO.	会社名		TTTTTT	-CEU		
	NO. 1	会社名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		第1742到 XXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	电 品留与 XXXXXXXXXXXXXXXX	
	NO. 1 2	会社名 200000000 1		発行すれた数 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	3	电品番与 XXXXXXXXXXXXX 4	*
	NO. 1 2	会社名 2000000000 1		2	ADRU XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	电品留与 XXXXXXXXXXXXXX 4	^

同じ要領で「名前」「電話番号」を移動させましょう。

以下の図のようになりましたか?

この状態で上書き保存をしておきます。

デザイン	入力定義	表形式																	
				• • •		• • •	• • •	•••	•••	•••	•••	•••	•••	·	• •	•	•••	•••	·
								•••		::	• •	•••	• •	•	• •	•	• •	•••	÷
								•••		•••	•••	•••	•••	÷	• •	•	•••	•••	÷
				• • •			• • •	•••	• • •	• •	• •	÷÷	• •	÷	• •	•	•••	•••	÷
														-					-
				:::						::	::	::	::	1	: :		::	::	:
::::				:::				::			::		::	÷		:	•	::	:
No.	会社名			2	前			電話	番号	::	<u></u>		ĚíŢ	拉		:	::	::	:
No.	会社名 XXXXXXXXXXX			名 X X	前 XXXX	00000	xx	电話 XXX	番号 XXX	:: 		÷÷ ≩ X >	Ě行 COX	· 枚 ××	÷ 敗 ×				:
No.	会社名 XXXXXXXXXX 1		~~~~	名 X X 2	a前 00000	0000	xx	電話 XXX 3	番号 XXX	 xx>	 	 ≆ X >		*枚對 >>>	シャン シン シン				: *
No. 1 2	会社名 XXXXXXXXX 1	0000000	××××	名 X X 2	4前 (XXX)	~~~	xx	電話 XXX 3	番号 XXX	 xx>		₹ X 4	Ě行 CCX	*枚 ³	÷)))))				•
No. 1 2	会社名 XXXXXXXXXX 1	000000	 	名 X X 2	s前 XXXX	00000	xx	電話 XXX 3	番号 XXX	 xx>		¥ × >		*枚對 >>>					

今回の練習では、設計したこの発行画面を使用します。 それでは、実際にデータを入力してラベルの発行を行いましょう。

■補足情報:行項目をヘッダ部へ移動させる

「会社名」のタイトル行をクリックし、ヘッダ部ヘドラッグ&ドロップします。



ヘッダ部に項目は移動しましたか?



6. レイアウトの発行

これまで作成したレイアウト・レイアウト発行画面を元にラベルの発行を行います。

レイアウトの作成を終了する時は、必ずレイアウトの保存を行いましょう。 保存せずに終了すると、今まで作成や変更した内容が無効になるので注意しましょう。

保存した「名前ラベル2」をダブルクリックします。



各項目を入力し、「発行開始」ボタンをクリックすると発行します。

📔 🗁 • 🔚 🔕 • 🗁 •	- 2	る前ラベル2(レイ)	アウト) - SATO Mu	lti LABELIST	r V5 Stand
■・ファイル ホーム	編集 表示				
出力先 発行開始 第7	× フレビュー データ	☐ ↓ ○□ ファイル ○□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	▲ ▲ ■ 先頭 前	次 末尾	ページ: 1
発行 テーダ ペーン					
■ フィルタ 参クリア					
T ((すべて)	(すべて)	(すべて)	(すべて)	見
No. 😤	会社名	名前	電話番号	発行枚数	
1	株式会社サトー	佐藤太郎	0120-567310	10	*
*					
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ß

発行しましたか?

以上で「<u>2:入力項目の作成と発行画面の作成</u>」は終了です。

3: 色々な文字を作りましょう

今まで練習してきたことを応用して色々な文字を使いましょう。

1. 固定の文字

「1:基本設定と文字作成」の応用です。固定値を設定して文字を表現しましょう。

プリンタフォントを印字しましょう。

「プリンタフォント」はプリンタに内蔵されている文字フォントで、印字処理が速く、送信 データ量を抑えることができます。

「1:基本設定と文字作成」で使用した文字は「Windows フォント」です。 「Windows フォント」は画像データとして扱わるため、印字処理が遅くなる場合があり、 送信データ量も多くなります。「Windows フォント」を使用すると、「プリンタフォント」 と比較して、サイズの大きい文字は滑らかな印字結果になります。

Multi LABELIST V5のML デザインから、レイアウト登録のデザイン画面を開き、新規に作成しましょう。作成方法がわからない場合は「<u>1:基本設定と文字作成</u>」を参照してください。

■レイアウトの基本設定

プリンタ機種 : L'esprit(レスプリ)T408v/R408v

ラベルサイズ : 縦 45mm、横 70mm
- デザイン 入力定義 表形式 🎘 オブジェクト 車
 -10
 0
 10
 20
 30
 40
 50
 60
 70
 80
 選択 A 文字 ► |||||||| バーコード ۲ 12345 2次元コード ► ⅲⅲ 合成シンボル 🗾 グラフィック 82 図形 表 ۳ì 白黒反転 ESC コマンド RFID RFID シンボルウィザード 50 CL4NX-J 12 | 文字(M S ゴシック) Y: 4.7500, X: -9.6667 | 件数: 1/1 | 143% 😑 , 🔍 🕀
- オブジェクトー覧から「文字」を選択し、「12345」と入力します。

デフォルトでは、種別が「Windows フォント」になっているため 以下のように「プリンタフォント」「X21」「縦2倍・横3倍」を指定しましょう。

基本設定	基本設定
項目名: 文字-1	項目名: 文字-1
データ	データ
貼付 ▼	貼付
12345	12345
※[Ctrl+Enter]キーで改行します。	※[Ctrl+Enter]キーで改行します。
フォント	7**
種別: Windowsフォント ・	● 種別: プリンタフォント ・
メイリオ・	X21(17x17) -
サイズ(pt)	サイズ(倍)
高さ: 9 ・ 幅: 自動 ・	縦: 2 🗘 横: 3 🗘
	B 2 P 4 B 詳細設定
🔲 領域を指定する	 領域を指定する

入力できましたか?

同じ要領でもうひとつ「ABCDE」を入力しましょう。 プリンタフォントの「X23」で縦2倍、横2倍で設定します。



上の図のように表示しましたか?

それでは、次に進みましょう。

2. 文字や設計画面の回転

表示している文字の回転を練習しましょう。

回転する項目を選択します。(マウスでクリックすると、選択できます)



ツールバーの「回転」をクリックしサブメニューを表示し、回転の種類を選択します。



選択した文字の回転方法は分かりましたか? 次に複数項目の回転を行いましょう。

回転する項目のある文字の範囲をマウスで選択します。



範囲を指定すると指定された文字が選択されます。



ツールバーの	۲180°	回転」	をクリック	っします。



以下の図のように回転されましたか?



これまでは、回転したい項目を選択して回転していましたが、MLV5 では印字方向を変更することで、90°回転や270°回転したラベルを簡単に見易く作成することができます。

例として、以下のラベルのように正方向(通常に文字が読める方向)から 90°や 270°回転したうベルを発行したい場合、そのままラベルデザインを作成しようとすると、各オブジェクトをそれぞれ回転させたり、首を傾けてラベルのバランスを確認しなければなりません。



そこで、新規作成時に以下のように設定を行います。

プリンタ機種 :L'esprit(レスプリ)T408v/R408v

ラベルサイズ : 縦 45mm、横 70mm

左上の矢印ボタンをクリックし、印字方向を変えます。



矢印の向きが90°または270°の場合は、用紙の向きも変わります。 クリックする毎に矢印が以下のように変わります。



90°でデザインして、ラベル発行してみましょう。

デザイン 入力	力定義 表形式
-10	0 10 20 30 40 50
70	
60	
50	株式会社サトー
40	
30	佐藤 太郎
20	0120-567-310
10	
•	
	Y: -7.6250, X: -6.0000 件数: 1/3

以下の向きでラベル発行されましたか?

株式会社サトー 佐藤 太郎 0120-567-310	印字方向
----------------------------------	------

3. 文字の改行

印字する項目の桁数が多く、ラベル範囲に収まらない場合、文字を改行して複数行に印字することが出来ます。ここでは簡単に文字を改行する方法を練習しましょう。

■貼付文字の場合

オブジェクトバーで文字オブジェクトをクリックします。



改行する前のデータを入力します。

デザイン	入力定義 表形式
1-10	0 10 20 3 <mark>0</mark> 40 50 60 70
Ĭ-	
10	ABCD
20	
30	
40	
⁵⁰ Ξ	
Y	: 8.5000, X: 31.8750 件数: 1/1 117% 🔵 💭 , 🕀

Ctrl キーを押しながら Enter キーを押して改行を行います。

デザイン	入力定義 表形式
10	0 10 20 30 40 50 60 70 1
	ABCD
20	
30	
50	
Y:	14.5000, X: 74.8750 件数: 1/1 117% 😑 💭 🕂 🕀

次の行の入力を行います。

デザイン	> 入力定義 表形式	
1	0 10 20 30 40 50 60 70 80)
	ABCD EFG	
	Y: -16.6250, X: 27.2500 件数: 1/1 118% 😑 💭 🕂 🤄)

基本設定画面の「改行」ボタンを有効にします。

基本設定
項目名: 文字-1
データ
貼付 -
ABCD EFG
※[Ctrl+Enter]キーで改行します。
フォント
種別: Windowsフォント ・
x7IJオ •
サイズ(pt)
高さ: 9 🔹 幅: 自動 👻
 回 領域を指定する

いかがでしたか?

改行することが出来ましたか?



改行ボタンを有効にしないと、プレビュー上でも改行はされません。

ABCDE	FG	

また、既に貼り付けた文字列を改行することもできます。

貼付文字の基本設定画面を表示します。

改行したい所にカーソルを移動し、Ctrl キーを押しながら Enter キーを押します。

基本設定 🔦	基本設定	
項目名: 文字-1	項目名: 文字-1	
データ	データ	
貼付 -	貼付 👻	
ABCDEFG	ABCD EFG	
※[Ctrl+Enter]キーで改行します。	 ※[Ctrl+Enter]キーで改行します。	
フォント	フォント	
種別: Windowsフォント ・	種別: Windowsフォント ・	
×7U7 •	メイリオ ・	
サイズ(pt)	サイズ(pt)	
高さ: 9 ・ 幅: 自動 ・	高さ: 9 🔹 幅: 自動 🔹	
🔲 領域を指定する	🔲 領域を指定する	

「改行」アイコンを有効にします。

基本設定	^
項目名: 文字-1	
データ	
貼付・	
ABCD EFG	
※[Ctrl+Enter]キーで改行します。	
フォント	
種別: Windowsフォント ・	
×イリオ •	
サイズ(pt)	-
高さ: 9 • 幅: 自動 •	

改行することが出来ましたか?

■入力変数文字の場合

入力変数文字の基本設定の「詳細設定」ボタンをクリックします。

基本設定
項目名: 文字-2
データ
変数 🔹
変数名: (ローカル)入力文字-2 …
補填 前: 後:
フォント
種別: Windowsフォント ・
メイリオ ・
サイズ(pt)
高さ: 9 ・ 幅: 自動 ・
🔲 領域を指定する

詳細設定画面の「文字調整」の「改行」を有効にすると改行が行われます。

	 Windowsフォント設定 ?
プリンタフォントを設定します。	Windowsフォントを設定します。
文字種(I): 漢字24 文字サイズ(拡大倍率)(倍) 縦(⊻): 1 ↓ 横(且): 1 ↓ 文字調整 B P P A B	フォント(I): メイリオ ▼ 文字サイズ(pt) 高さ(出): 9 ● 幅(W): 自動 ● 文字調整 ● ● ● ● ● ● ●

改行設定はフォントの種類により設定が異なります。

・プリンタフォント利用時

「行間ピッチ」、「改行文字数(改行文字長)」に値をセットし、「OK」ボタンをクリックして ください。「改行文字数」と「改行文字長」は、選択したフォントによって、表示が切替わります。

改行設定		
行間ピッチ(<u>P</u>):	1 🛟	(mm)
改行文字数(<u>N</u>):	10 🛟	(文字)
強制改行記号(<u>B</u>):		•

Windows フォント利用時

「行間ピッチ」、「改行文字長」に値をセットし、「OK」ボタンをクリックして下さい。

改行設定		
行間ピッチ(<u>P</u>):	1 🛟 (mm)	
改行文字長(<u>L</u>):	10 📜 (mm)	
強制改行記号(<u>B</u>):	-	
改行可能記号(<u>R</u>):		

改行することが出来ましたか?

「<u>入力変数文字</u>」で説明した改行方法は、「<u>貼付文字</u>」でも使用できます。 Ctrl+Enter を使わず、改行文字長などで改行も可能です。

4. 文字の編集

これまでは、入力した文字や設定した文字をそのまま印字してきましたが、今回は、入力した文字 を加工して見易くしたり、入力を容易にしたりするように編集しましょう。

価格を印字するときに、入力した文字に「¥」や「,」を自動的につける様に編集しましょう。

文字の編集は、変数の設定で行います。

「2:入力項目の作成と発行画面の作成」で使った変数に「価格」を追加しましょう。

■カンマ編集、通貨編集

レイアウトを開き、画面下部の「ローカル変数一覧」の「追加」をクリックします。

H	1 <u>0</u> - <u>t</u>	コル変数	一覧											 д
〔 追	〕 们 珈 編約	『 📑 第 挿入	米 切り取	ני זט ⊐נ) :	『 貼り付け	≫ 削₿	余	検索:	変数	名の一部を入力してください		? ルプ	
	変数名			[≤分		ħ	行数			詳細			
	~	t名		5	ኢታ					20	入力種類:文字			*
	<i>≪</i> ■名前	ij		5	ኢታ					10	入力種類:文字			
۲	紀電調	鐇号)	ኢታ					12	入力種類:文字			
														Ŧ
	70-1	うル変数	一覧 🛓	ローカ	レテ	ーブル一覧		∛ □	ーカル	レチェ	ックテーブル一覧 🗔 ローカ	ルグラフィック	一覧	

「入力」を選択します。

📴 変数設定									
変数の設定を行います。									
入力 複写	入力	り変数種 集パラメ-	類: 文字 ▼						
結合		順序	編集内容	設定内容	設定詳細				
連番	٠	1	テ−プル変換	なし …					
日時		2	税編集	なし ・ なし ・					
計算		4	通貨編集	なし ・					
		5	桁寄せ編集	なし・					
		6	前ゼロ補填	なし・					

Multi LABELIST V5

「編集パラメータ」タブの「カンマ編集」の「設定内容」を「半角」に変更します。

📴 変数設定										
変数の設定を行います。	変数の設定を行います。									
				_						
入力	入力変数	種類: 文字	•							
複写	編集パラ	x-9								
結合	順序	編集内容	設定内容		設定詳細					
連番		1 テーブル変換	なし							
	1	2 税編集	なし	•						
日時	1	3 カンマ編集	なし	-						
計算	-	4 通貨編集	なし							
5.5.0211	9	5 桁寄せ編集	半角							
シンホル		5 前ゼロ補填	全角							

「通貨編集」の「設定内容」を、「通貨編集を行う」をチェックし、文字で「¥」を選択し、「OK」 ボタンをクリックします。

D	変数設定					
変	数の設定を行います。					
1		_				
	入力	入力]変数種	(対)		
	複写	編集	ミパラメ-	-9		
	結合	,	順序	編集内容	設定内容	設定詳細
	連番		1	テーブル変換	なし	
			2	税編集	なし	•
	D 64		3	カンマ編集	半角	•
	計算	I	4	通貨編集	なし	•
	2,5,4211		5	桁寄せ編集	N SK (SKE)	=+4=>(m)
	92101		6	前ゼロ補填	▶ 通貨編集	
					文字: ¥	•
					□ ゼロの場合(は空欄にする(Z)
					O	K キャンセル .::

変数名に「価格」、桁数を「8桁」に設定し、「OK」ボタンをクリックすると、変数が追加されます。

対象文字:	ブレビュー(2) 📫 編集後:
変数石: Ш倍	イブダン: 8 - OK キャンセル

表示されましたか?

H	70	ーカル	·変数-	覽								д
〔 道	动	₩ 編集	○ ゴ 挿入		<u>ה</u> האר	<mark>宿</mark> 貼り付け	業 削除	検索:	変数	名の一部を入力してください	? ルプ	
	変数	数名			区分		桁数	t		詳細		
	a	会社名	4		入力				20	入力種類:文字		*
	a	名前			እታ				10	入力種類:文字		
	a	電話者	号		入力				12	入力種類:文字		
٠	æ	価格			አታ				8	入力種類:文字		

■前ゼロ編集

入力した文字の前に「〇」を自動的に付加して印字したい時は「前ゼロ編集」を行います。

レイアウトを開き、画面下部の「ローカル変数一覧」の「追加」をクリックします。

🔐 ローカル変数一覧				4
🗋 🎁 🔂 🔏 追加 編集 挿入 切り取り :	□ □	₩ 削除 検索: 変数	2名の一部を入力してください ③ 💽 🦯	?, レプ
変数名	区分	桁数	詳細	
<i>Q</i> ■会社名	入力	20	入力種類:文字	*
<i>Q</i> ■名前	入力	10	入力種類:文字	
	አታ	12	入力種類:文字	
▶ <i>@</i> ■価格	入力	8	入力種類:文字	
				Ψ
🔐 ローカル変数一覧 😫 ロー	カルテーブル一覧	🛓 ローカルチェ	:ックテーブル一覧 🗔 ローカルグラフィック	一覧

「入力」を選択します。

D	2 変数設定					
変	数の設定を行います。					
	入ታ	<u>ک</u>	力変数種	類: 文字 ▼		
	複写	編	集パラメ-	-9		
	結合	順序 編集內容 設定内容 設定詳細				設定詳細
	連番	٠	1	テーブル変換	なし …	
	日時		2	税編集 カンマ編集	なし・	
	計算		4	通貨編集	なし・	
	シンボル		5	桁寄せ編集	なし・	
	22.107		6	前ゼロ補填	なし・	

「編集パラメータ」タブの「前ゼロ補填」の設定内容を「あり」に変更します。

🕗 変数設定	_				
変数の設定を行います	•				
	_				
入力	入力変数	重類: 文字	•		
複写	編集パラメ	-9			
結合	順序	編集内容	設定内容	設定詳細	
連番	1	テーブル変換	なし	•••	
	- 2	税編集	なし	-	
日時	3	カンマ編集	なし	-	
計算	4	通貨編集	なし	•	
2.2.421	5	桁寄せ編集	なし	*	
シンホル	. 6	前ゼロ補填	なし	-	
			<i>tt</i> 1.		
			あり		

Multi LABELIST V5

変数名に「前ゼロ」、桁数を「10桁」に設定し、「OK」ボタンをクリックすると、変数が追加 されます。

	変数名	区分	桁数	詳細	
		入力	20	入力種類:文字	*
	₩ 名前	入力	10	入力種類:文字	
	√■電話番号	入力	12	入力種類:文字	
	₩ 価格	入力	8	入力種類:文字	
1	 一前ゼロ 	入力	10	入力種類:文字	

今回追加した「価格」と「前ゼロ」の変数を、「<u>2:入力項目の作成と発行画面の作成</u>」で行った 手順で印字項目に設定して、印字してみましょう。

■編集結果のプレビュー

変数で、¥補填やゼロ補填などの編集をした場合、プレビューで編集後の値を確認することが 可能です。

先ほど作成した「価格」変数をダブルクリックします。

「対象文字」に元になる値を入力し、「プレビュー」ボタンをクリックすると、「編集後:」の項 目に設定したカンマ編集、通貨編集を行った値が表示されます。

🛂 发数設定				r X	
変数の設定を行います。					
入力	入力変数種類: 文字	•			
複写	編集パラメータ				
結合	順序 編集内容	設定内容	設定詳細		
連番	 1 テーブル変換 	なし・	•	<u>^</u>	
	2 税編集	なし	•		
D 64	3 カンマ編集	半角	•		
計算	4 通貨編集	あり	 文字:¥, ゼロ空欄:無効 		
シンボル	5 桁寄せ編集	なし	•		
	の前に日備項	14U			
対象】	文字:		ブレビュー(P)	₩∲ 編集後:	
	对象文字: 家数名: 価格		ブレビュー(2) 📫 編集後:	行数: 8 1	
			ОК	キャンセル	

「1200」と入力すると「¥1,200」と表示されます。

対象文字: 1200 ブレビュー(P) III 編集後: ¥1,200	1				
	対象文字:	1200	ブレビュー(<u>P</u>) 📫	編集後:	¥1,200

Multi LABELIST V5

5. 文字の複写

1つの入力項目に対して、前回練習したように、1つは「¥」「,」補填、もう1つは「ゼロ補填」 で印字したいと言った場合も考えられます。

こういったケースには変数の「複写」を利用して編集を行います。

「複写」の「複写タイミング」で、対象の変数が編集される前か後のどちらを複写するか選択できます。入力変数の入力値など編集される前の値を複写する「編集前複写」、カンマ編集など編集パラメータの設定で入力値が編集された後の値を複写する「編集後複写」があります。

それでは、「編集前複写」と「編集後複写」について練習しましょう。

1つの入力変数に対してそれぞれ「編集前複写」と「編集後複写」を指定します。

新規にレイアウトを作成しましょう。

•基本設定

プリンタ機種	:Ľ	esprit(レスプリ)T408v/R408v

- ラベルサイズ :縦 45mm、横 70mm
- 変数設定

①変数名	:価格
桁数	:8桁
編集	:「¥」「カンマ」編集 右寄せ
②変数名	:前ゼロ
おこ米ロ	・1〇坊

桁数	:10桁	
編集	:前ゼロ編集	右詰め

🔐 ローカル変数一覧					щ
□ 11 01 01 追加編集挿入 切り	🖌 🖸 💼	¥ 検索: け 削除	変数名の一部を入力し	ってください 🔳 🗸	
変数名	区分	桁数	詳細		
ℳ価格	入力	8	入力種類:文字		*
🕨 🕢 前ゼロ	入力	10	入力種類:文字		
					-
₩ ローカル変数…	😫 ローカルテーブル…	・ 🛓 ローカル	チェックテーブル…	🗔 ローカルグラフィック…	

変数の設定は出来ましたか?

■編集前複写

変数一覧で「追加」ボタンを押して変数設定画面を表示します。 「複写」を選択し、複写タイミング「編集前」を選択します

■ 変数設定		
変数の設定を行いま	و .	
入力	複写タイミング(<u>C</u>): 編集前 ▼	
複写	複写 編集パラメータ	
結合	複写変数: ▼	
連番	開始位置: 1 🗍 終了位置: 1 🏮	
日時		
計算		
シンボル		

複写変数で「価格」を選択し、「開始位置:1」「終了位置:8」を設定します

▶ 変数設定				
変数の設定を行います	f.			
入力	複写タイミング(<u>C</u>): 編集前 ▼			
複写	複写 編集パラメータ			
結合	複写変数: 価格 ▼			
連番	開始位置: 1 🛟 終了位置: 8 🛟			
日時				
計算				
シンボル				

変数名に「編集前複写価格」、桁数を「8桁」に設定し、「OK」ボタンをクリックすると変数が 追加されます。

変数名:	編集前複写価格	桁数:	8 🛟

■編集後複写

変数一覧で「追加」ボタンを押して変数設定画面を表示します。 「複写」を選択し、複写タイミング「編集後」を選択します。

□ 変数設定		
変数の設定を行いま	. ज.	
አታ	複写タイミング(<u>C</u>): 編集後 ▼	
複写	複写	
結合	複写変数: ▼	
連番	開始位置: 1 🐊 終了位置: 1 🗍	
日時		
計算		
シンボル		

複写変数で「価格」を選択し、「開始位置:1」「終了位置:8」を設定します

■ 変数設定		
変数の設定を行います	г.	
入力	複写タイミング(<u>C</u>): 編集後 ▼	
複写	複写	
結合	複写変数: 価格	
連番	開始位置: 1 🛟 終了位置: 8 🛟	
日時	•	
計算		
シンボル		

変数名に「編集後複写価格」、桁数を「8桁」に設定し、「OK」ボタンをクリックすると、変数 が追加されます。

	変数名:	編集後複写価格	桁数:	8 🛟
<u> </u>				

以下のように表示されましたか?

🔐 ローカル変数一覧					щ
□ 11 □ 13 2 追加 編集 挿入 切り	🖌 🖒 💼)取り コピー 貼り付	¥ け削除 検索:	変数名の一部を入力し	てください 🔳 🔻	
変数名	区分	桁数	詳細		
@■価格	入力	8	入力種類:文字		*
₩前ゼロ	入力	10	入力種類:文字		
■編集前複写価格	複写	8	複写タイミング:…		
▶ 副編集後複写価格	複写	8	複写タイミング:…		
					-
₩ ローカル変数…	😫 ローカルテーブル…	・ 🗳 ローカル	チェックテーブル…	ローカルグラフィック・	

同じ方法で、前ゼロの変数についても、「編集前複写」と「編集後複写」の変数を追加しましょう。

🔐 ローカル変数一覧					щ	
 「「」」」 「」」 追加編集挿入切り 	🖌 🖒 💼 の取り コピー 貼り付	¥ は削除	変数名の一部を入力し	てください 🔳 💌		
変数名	区分	桁数	詳細			
₩ 価格	入力	8	入力種類:文字		*	
<i> </i>	入力	10	入力種類:文字			
■編集前複写価格	複写	8	複写タイミング:…			
■編集後複写価格	複写	8	複写タイミング:…			
■ 編集前複写前ゼロ	複写	10	複写タイミング:…			
 論編集後複写前ゼロ 	複写	10	複写タイミング:…			
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
₩ ローカル変数…	🛂 ローカルテーブル…	・ 🛛 🛓 ローカル	チェックテーブル…	🗔 ローカルグラフィック…		

以下のように設定できましたか?

レイアウトのデザインへ反映しましょう。



デザインへの反映は出来ましたか?

それでは実際に印字してみましょう。

デザインを終了する場合には必ずレイアウトの保存を行って下さい。 「複写練習.mllayx」として保存しましょう。

6. 印字結果の確認

先ほど保存した複写練習用のレイアウトをダブルクリックします。

ML プリントの発行画面が起動します。

入力項目「価格」に「1000」、「前ゼロ」に「5000」を入力します。

📔 🗁 • 💼 💩 • 🚔	• =	複写練習(レイアウト) - S	SATO Multi LABELI	(ST V5 Stand
11-ファイル ホーム	、 編集 表示			
		A A A A	🗟 🛛 🖣	
出力先 発行開始 発行	テ中止 プレビュー	データ ファイル OE	DBC 先頭 前	次末属
発行		データ		ページ
価格 前ゼロ				
¥1,000 5000	_			1
🛛 フィルタ 둸ク	リア			
Т	(すべて)			
No.	発行枚数			
I 1	1			^
*				_

以下のように印字されましたか?



以上で「3: 色々な文字を作りましょう」は終了です。

知っておくと便利な機能

■レイアウトファイルから画面を開く

発行画面や設計画面はメニューから開く方法の他に、直接右クリックやダブルクリックで開く事が できます。

・発行画面の開き方

方法1. レイアウトファイルをダブルクリックする。 方法2. レイアウトファイルを右クリックし、「開く」を選択する。



・設計画面(ML デザイン)の開き方



Multi LABELIST V5

4:バーコードの作成と様々な設定

バーコードと様々な編集機能を使いましょう。

1. バーコードの作成

固定値を設定してバーコードを表現しましょう。またバーコードの解説文字を表現しましょう。

「解説文字」とは、バーコードの下部に英数字、記号で表記されている文字で、バーコード の内容を表わしています。バーコード全ての内容を表記する場合も、バーコードの内容の一 部のみ表記する場合など様々な表記方法があります。



■JAN/EAN コード

ML デザインで新規にレイアウトを作成します。

プリンタ機種 : L'esprit(レスプリ)T408v/R408v



オブジェクトバーより、バーコードオブジェクトをクリックします。

×7	ブジェクト	щ
	選択	
Α	文字	►
	バーコード	•
	2次元コード	•
	グラフィック	
82	図形	•
	表	
	白黒反転	

バーコードを印字させたい所へマウスのカーソルをもって行き、クリックします。

デザイン	入力定義 表形式
1-10	0 10 20 30 40 50 60 70
10	\sim
20	
30	
40	
50	
	Y: 34.8750, X: 90.1250 件数: 0/0 124% 🔵 💭 🛨

バーコードが貼り付きます。

デザイン 入力	定義表形式
-10	0 10 20 30 40 50 60 70 80
10	
20	
20	
40	
50	
	│Y: 14.0000, X: 75.5000 │件数: 1/1 │ 124% ─

画面右側のプロパティウィンドウ「基本設定」を設定します。

「データ」にバーコードデータを入力し、バーコードの種類で「JAN/EAN13」を選択し、解説 文字付加で「あり(ガードバーなし)」を選択します。

基本設定							
項目名: バー	項目名: パーコード-1						
データ 貼付	-						
123456789012							
バーコード設	定						
種類:	JAN/EAN13 •						
解説文字付加	: あり(ガードバーなし) ・						
高さ:	10 🛟 (mm)						
倍率:	2 🛟 (倍)						

解説文字のフォントを設定する場合は、「…」ボタンを押し、フォント設定画面を表示します。

解説文字付加: あり(ガードバーなし) ・	 パーコード解説文字フォント設定 パーコードの解説文字フォントを設定します。
	種別(I): Windowsフォント メイリオ サイズ(pt) 高さ(出): 9 ・ 幅(W): 自動 文字調整 B / U → ● 文字調整 文字間とッチ(P): 0 ↓ (mm) 解説文字の表示位置 縦位置(Y): 1.25 ↓ (mm) 横位置(X): 0 ↓ (mm)
	OK キャンセル

「詳細設定」を開き、C/D 自動付加で「JAN/EAN(モジュラス10)」を指定します。 C/D を付けず、13桁全てをデータで入力する場合は「なし」にします。



「属性設定」では印字位置を数値(単位mm)で設定できます。

屈	性設定	
r	印字位	置(mm)
	縦:	7.5 🛔 橫: 7.5 🛟
	==±	
	山転:	0. 1
	印字:	📻 条件設定 マウス操作: 📐

バーコードは表示されましたか?



■CODE39

NW-7 や CODE39 の様に、スタート/ストップのコードを自動的に付加する事が出来ます。

「JAN コード」で作成したレイアウトに追加してみましょう。



オブジェクトバーより、バーコードオブジェクトをクリックします。



バーコードを印字させたい所へマウスのカーソルをもって行き、クリックしましょう。

画面右側のプロパティウィンドウ「基本設定」を設定します。

「データ」にバーコードデータを入力し、バーコードの種類で「CODE39」、解説文字付加で「あり」を選択し、倍率を「2倍」に変更します。

基本設定	
項目名: バーコード-2	1
データ	
貼付	
12345ABCD	
☑ 未尾のスペースを取り除く	
バーコード設定	
種類: CODE39 ▼	
解説文字付加: あり 🔹 🛄	
高さ: 10 📜 (mm)	
倍率: 2 🛟 (倍)	
バー比率: 1:2 ・ 任意比率	

「詳細設定」でスタートストップのコードに「*」を入力します。 入力データにスタートコードやストップコードを含む場合は「(なし)」を選択します。

詳細設定 🔦				
C/D自動付加:	なし		•	
START⊐ード	*	•		
STOPコード:	*	-		

属性設定	Ē	*
印字位	[置(mm)]
縦:	25.5 🛟 横:	6.5 🛟
回転:	0° •	
印字:	条件設定	マウス操作: 💽

バーコードは表示されましたか?



2. 結合

これまでの練習のように、1つの文字列でバーコードを表現するのではなく、1つのバーコードの 中にも複数の項目が存在する場合があります。

例えば、JAN コードは「国コード」+「メーカーコード」+「アイテムコード」+「C/D」というように1つのバーコードでも、項目が分かれています。

複数の項目を1つにまとめる機能として変数の「結合」を使用します。



■結合を使用したJANコードの作成

ML デザインで新規にレイアウトを作成します。

プリンタ機種 : L'esprit(レスプリ)T408v/R408v

ラベルサイズ : 縦 45mm、横 70mm



「<u>2-2:変数の作成</u>」を思い出して、変数項目の作成を行いましょう。

①変数種類	:入力
変数名	:メーカーコード
桁数	:5 桁
②変数種類	:入力

変数名	:アイテムーコード
桁数	:5 桁

以下のように、変数は設定できましたか?

🔐 ローカル変数一覧					4
□ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	🖌 🖒 💼 D取り コピー 貼り付	業 検索: 変数 け 削除	名の一部を入力してく	ださい	
変数名	区分	桁数	詳細		
<i>₄</i> ┹メーカーコード	入力	5	入力種類:文字		
▶ 🛷 アイテムコード	入力	5	入力種類:文字		
					Ŧ
₩ ローカル変数一覧	😫 ローカルテーブル-	-覧 🗳 ローカルチェ	ックテーブル一覧 🖾	コーカルグラフィック一覧	

それでは、結合項目を作成しましょう。

変数一覧で「追加」ボタンをクリックします。 変数設定画面で「結合」を選択します。

C									
198	数の設定を行います。								
	入力	子	項目遲						
	複写		No.	種類		データ	桁数	属性	
	結合	•	*		•				
	連番								
	日時								
	計算								
	シンボル								

「種類」で「固定」を選択し、「データ」に「49」と入力します。

子	項目邊	【択 編集				
	No.	種類	データ	桁数	属性	
I	1	固定 🔹	49	0	固定文字:	
	*	•				

「種類」で「変数」を選択し、「データ」で「メーカーコード」を選択します。

子	項目運	訳 編集					
	No.	種類		データ	1	桁数	属性
	1	固定	•	49		2	固定文字:49
I	2	変数	٠	メーカーコード・	·	5	変数種類:入力,入力種類:文字
	*		•				

「種類」で「変数」を選択し、「データ」で「アイテムコード」を選択します。

	子項目邊	選択 編集			
	No.	種類	データ	桁数	属性
	1	固定 🔹	49	2	固定文字:49
	2	変数 ▼	メーカーコード・	5	変数種類:入力,入力種類:文字
1	3	変数 🔹	アイテムコード・	5	変数種類:入力,入力種類:文字
	*	-			
]	3 *	変数 ▼ ▼	アイテムコード・	5	変数種類:入力,入力種類:文字

「変数名」に「バーコード」と入力し「OK」ボタンをクリックします。

変数名: バーコード	桁数:	12	÷	
------------	-----	----	---	--

以下のように変数項目が入力できましたか?

🔐 ローカル変数一覧			щ
🗋 🎢 ॏ 🗡 (追加 編集 挿入 切り取り コ	🖒 💼 🗱 _{検索} :	変数名の一部を入力してください	
変数名 区分	う 桁数	詳細	
@メーカーコード 入力	ז 5	入力種類:文字	*
<i> <i> </i></i>	ל 5	入力種類:文字	
▶ 💽 💼 バーコード 結合	<u>}</u> 12	指定文字削除:な…	
▲ 固定文字 固定	Ë 2	固定文字:49	
@メーカーコード 入力	ַד 5	入力種類:文字	
● アイテムコード 入力	ז 5	入力種類:文字	
			Ŧ
🔐 ローカル変数一覧 🔛 ローカ	カルテーブル一覧 🛛 🕌 ローカル	チェックテーブル一覧 🗔 ローカルグラフィック一覧	
以下のバーコードオブジェクトに、作成した「結合」をデータとして設定しましょう。

バーコードの種類 : JAN/EAN13
 解説文字付加 : あり(ガードバーなし)
 C/D 自動付加 : JAN/EAN(モジュラス 10)

以下のように表示されましたか?



ML プリントで、「メーカーコード」と「アイテムコード」を入力して、発行確認をしましょう。

3. 連番

ラベルに連番を付加しましょう。

ラベルのレイアウトによっては、シリアル No.や LOT No.のように、連番を印字するケースもあります。ここでは、連番を付加するための機能について練習しましょう。

ML デザインで新規にレイアウトを作成します。

プリンタ機種: L'esprit(レスプリ)T408v/R408v

ラベルサイズ : 縦 45mm、横 70mm

デザイン	/ 入力定義	表形式				
-10	0 	10 20	30	40 5	0 60	70
•						
10						
10						
20						
30						
40						
50 Ξ	V: 24.07	F0 X: 00 10	0 //+**	0/0 124		
	r: 34.87	50, X: 90.125	00 1 1 1300:	0/0 124	₩	•••••

変数一覧で「追加」ボタンをクリックします。 変数設定画面で「連番」を選択します。

変数設定 変数の設定を行いま	đ.	
SERVICE CITY IS	7 ·	
入力	連番種類(<u>C</u>): 数値(レー	イアウト) 🔹 🔲 発行時に入力する(<u>I</u>)
複写	数値(レイアウト) 編集	パラメータ
結合	n進数: 10進数	•
連番	連番範囲:	1 🗘 ~ 99 🛟
日時	増減値:	1 🗘
計算	連番詳細	
シンボル	カウント条件:	指定した発行枚数毎にカウントする ◆ 指定枚数: 1 ↓ 枚
	連番保存方法:	なし・

連番範囲に「1~999」を入力します。

連番の増減値を変更することで、1カウント毎に任意の値で連番を増やすこともできます。 例として、増減値「2」と入力した場合は「1,3,5,7,9・・・」となります。

	変数設定		
꺯	2数の設定を行います	ġ.	
	እታ	連番種類(<u>C</u>): 数値(レイアウト) ・ 🔲 発行時に入力する(<u>I</u>)	
	複写	数値(レイアウト) 編集パラメータ	
	結合	n進数: 10進数 🔹	
	連番	連番範囲: 1 🛟 ~ 999 🛟	
	日時	増減値: 1 🛟	
	計算	- 連番詳細	
	シンボル	カウント条件: 指定した発行枚数毎にカウントする ・ 指定枚数: 1 枚	
		連番保存方法: なし ▼	
		連番保存値の初期化: なし -	

変数名に「連番1」、桁数に「3桁」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

亦物化,注乎1	*=粉.	2 4
	MI\$X:	3 .

連番印字を「桁寄せ」など編集する場合は、タブを「編集パラメータ」に切り替えて設定できます。

D 変	変数設定 数の設定を行います	Γ.				
	入力	連	番種類((<u>C</u>): 数値(レイアウト)	 発行時に、 	入力する(<u>I</u>)
I	複写	数	で値(レイ	アウト) 編集パラメータ		
H	結合		順序	編集内容	設定内容	設定詳細
Ц	連番	•	1	カンマ編集	なし・	
	口哇		2	桁寄せ編集	なし・	
	<u>цы</u>		3	前ゼロ補填	なし・	
L	計算					
L	シンボル					
l						

以下のように設定できましたか?

🔐 ローカル変	数一覧		щ
□ 11 □ 追加 編集 挿	1 🔏 🗇 🛛 入 切り取り コピー 貼り	□ 業 検索: 変数名の一部を入力してください ■ ■ ペルプ	
変数名	区分	桁数 詳細	
▶ 123▶連番1	連番	3 連番種類:数値(レイアウト),入力:なし	*
-			•
11-カル変	数一覧 🔄 ローカルテーブ	ルー覧 🦉 ローカルチェックテーブル一覧 🗔 ローカルグラフィック一覧	

設定した連番を、印字に反映しましょう。 文字列オブジェクトに作成した「連番1」変数を割り当ててください。



設定出来ましたか?

ML プリントで、「発行枚数」を入力して、発行確認をしましょう。

4. グラフィック

ラベルやタグを印字する際に、文字やバーコードだけでなく、会社のロゴや貼り付ける商品の内容物の絵を印字するケースがあります。その場合はオブジェクトの「グラフィック」を使用します。

Multi LABELIST V5 でグラフィックを作成するには、予め BMP ファイル形式のグラフィックファイルが必要です。Windows 付属のペイントやその他市販されている画像処理ソフトなどで、印字したいグラフィックファイルを作成しておいてください。

ML デザインで新規にレイアウトを作成します。

プリンタ機種	:L' esprit(レスプリ)T408v/R408v
ラベルサイズ	:縦 45mm、横 70mm

デザイン	入力定義 表形式
10	0 10 20 30 40 50 60 70
•	
10	
20	
30	
40	
50	
	Y: 34.8750, X: 90.1250 件数: 0/0 124% 〇 ,

オブジェクトバーでグラフィックオブジェクトをクリックします。

**	ブジェクト	щ
k	選択	
A	文字	•
	バーコード	•
	2次元コード	•
	グラフィック	
86	図形	•
	表	
	白黒反転	

グラフィックを印字させたい所へマウスのカーソルをもって行き、クリックします。



ファイル選択画面が表示されますので、予め準備しておいたグラフィックファイルを選択し、 「開く」ボタンをクリックします。

┃ 貼付グラフィックファイノ	レを選択	.
	リ ▶ ピクチャ ▶ LOGO 🛛 👻	 ✓ ✓ LOGOの検索 LOGOの検索
整理 ▼ 新しいフォル	ダー	s - 1 0
☆ お気に入り ↓ ダウンロード	ピクチャ ライブラリ LOGO	並べ替え: フォルダー ▼
■ デスクトップ 500 第二 </td <td>SATOD, 2.5mp SATOD, 3.5mp</td> <td>SATODI"4.bmp</td>	SATOD, 2.5mp SATOD, 3.5mp	SATODI"4.bmp
🗥 SkyDrive		
🍃 ライブラリ		
📄 ドキュメント		
📔 ピクチャ		
■ ドデオ 🔹		
77-	イル名(N):	 すべてのイメージの種類 (*.br ↓ 開<(0) ▼ キャンセル

グラフィックが貼り付きます。

デザイン	入力定義 表形式
1 Juliu	0 10 20 30 40 50 60 70
-10	
•	
10	
20	
30	
1 0	
50	
Y: 4	9.8750, X: 48.2500 件数: 0/1 120% 🔵 💭 🕂

グラフィックの細かな設定は、プロパティウィンドウで行います。 今回は特に設定する必要はありませんが、いろいろ変更して試してみてください。

基本設定	*
項目名: 🛛	ガラフィック-1
グラフィッ	1ク
貼付	•
ファイル	ይ:
¥A0004	814¥Pictures¥LOGO¥SATO[]°3 …
登録方法:	レイアウトに取り込む・
	ペイント起動
詳細設定	*
印字方法:	サイズを指定する・
-サイズ(mi	m)
✔ 縦横比	を維持する 元サイズに戻す
高さ:	6.375 🛟
幅:	30.375 🛟
属性設定	*
- 印字位置()	mm)
縦:	5.5 🛟 横: 7.125 🛟
回転: ()° •
印字色:	黒色・
印字: 🚺	条件設定マウス操作: 📐

作成したレイアウトを、ML プリントから、「発行枚数」を入力しラベル発行してみましょう。

5. 日時

賞味期限のある商品や製造日付を印字する場合には、変数の「日時」を使用します。 日時はパソコンのカレンダーの値を参照して印字することができます。

ML デザインで新規にレイアウトを作成します。 プリンタ機種 : L'esprit(レスプリ)T408v/R408v

ラベルサイズ : 縦 45mm、横 70mm



変数一覧で「追加」ボタンをクリックします。 変数設定画面で「日時」を選択します。

	▶ 変数設定								
3	変数の設定を行います。								
	入力	🔲 発行時に入力する($5(\underline{I})$						
	複写	日時							
	結合	印字フォーマット:	:	•••					
	連番	経過値:	なし	-					
	日時								
	計算								
	シンボル								

「印字フォーマット」の「…」ボタンをクリックします。

	▶ 変数設定								
Ż	変数の設定を行います。								
	入力	■ 発行時に入力する(<u>I</u>)							
	複写	日時							
	結合	印字フォーマット: …							
	連番	経過値: なし ·							
	日時								
	計算								
	シンボル								

日時フォーマット編集画面が開くので、フォーマットを指定します。

サンプルのフォーマットパターンが用意されています。

パターン一覧から選択するか、「書式一覧」を参考にして、自分で入力することも可能です。

□ 日時フォーマット編集							
元になるプリセットの書式を選択して、新しい	元になるプリセットの書式を選択して、新しいフォーマットを作成してください。固定文字も入力可能です。						
フォーマット	ť	ンプル					
%YYYY%年%MM%月%DD%日	書	式一覧					
%YYYY%-%MM%-%DD%		内容	書式	例			
%YYYY%/%MM%/%DD%	۲	西暦年4桁	%YYYY%	0000~9999			
%YY%年%0M%月%0D%日		西暦年2桁	%YY%	00~99			
%XX%年%0M%月%0D%日		西暦年1桁	%Y%	0~9			
%WW%曜日		和暦年2桁	%XX%	1~99	=		
%ww%-%0D%-%0M%		月	%MM%	1~12			
%HH%時%FF%分		月2桁	%0M%	01~12			
%HH%:%FF%		月(英字)	%MMM%	Jan/Feb/Mar/Ap…			
%0H%:%0F%		日	%DD%	1~31			
%2H%:%FF%		日2桁	%0D%	01~31			
%AP% %0H%:%0F%		曜日(数字)	%W%	0~6			
964P76 760F76: 760F76		曜日(漢字)	%WW%	日/月/火/水/木/金…			
70141470/3 70/311/20		曜日(英字)	%ww%	Sun/Mon/Tue/W…	-		
				ок	キャンセル		

「西暦4桁」「月2桁」「日2桁」を設定します。 一覧をダブルクリックして、「フォーマット」欄に反映させ、「OK」ボタンをクリックします。

D 日時フォーマット編集 ? 王							
元になるプリセットの書式を選択して、新しいフォーマットを作成してください。固定文字も入力可能です。							
フォーマット	- サンプル						
%YYYY%/%MM%/%DD%	2013/1/25						
%YYYY%年%MM%月%DD%日	·····································						
%YYYY%-%MM%-%DD%	内容	書式	例				
%YYYY%/%MM%/%DD%	▶ 西暦年4桁	%YYYY%	0000~99999	*			
%YY%年%0M%月%0D%日	西暦年2桁	%YY%	00~99				
%XX%年%0M%月%0D%日	西暦年1桁	%Y%	0~9				
%WW%曜日	和暦年2桁	%XX%	1~99	=			
%ww%-%0D%-%0M%	月	%MM%	1~12				
%HH%時%FF%分	月2桁	%0M%	01~12				
%HH%:%FF%	月(英字)	%MMM%	Jan/Feb/Mar/Ap…				
%0H%:%0F%	日	%DD%	1~31				
%2H%:%FF%	日2桁	%0D%	01~31				
%AP% %0H%:%0F%	曜日(数字)	%W%	0~6				
%ap% %0H%:%0F%	曜日(漢字)	%WW%	日/月/火/水/木/金…				
%MM%月%SN%	曜日(英字)	%ww%	Sun/Mon/Tue/W…				
			ОК	キャンセル			

変数名に「本日の日付」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

	変数設定				? 💌
変	数の設定を行います	f .			
ſ	入力	П発行時に入力する(I.)		
	複写	日時			
	結合	印字フォーマット:	%YYYY%/%MM%/%DD%		
	連番	経過値:	なし	•	
	日時				
	計算				
	シンボル				
	_				
		変数名:本日の日付			行数: 10 🗘
					ЭК キャンセル

以下のように設定できましたか?

🔐 ローカル変数一覧				Щ
□ 11 01 01 追加 編集 挿入 切り	🔏 🖸 🖺 D取り コピー 貼り付) け 削	検索: 変数名の一部を入力してください	
変数名	区分	桁数	詳細	
 〇本日の日付 	日時	10	日時:基準日付,フォーマット:%YYYY%/%MM%/%DD%	*
				•
₩ ローカル変数一覧	😫 ローカルテーブル-	覧	🗳 ローカルチェックテーブル一覧 🗔 ローカルグラフィック一覧	

同じ要領で、「3日後の日付」という変数名で、3日後の日付を表示出来る様に、設定を追加しま しょう。

「経過値」の欄をクリックし、以下のように設定します。

「経過値を加算する」	:有効
「経過値種類」	:固定
「経過方向」	:未来
「経過日時」	:3日

設定したら、	「OK」ボタンをクリックしま	す。

1	日時	
	印字フォーマット:	%YYYY%/%MM%/%DD% ····
	経過値:	<u>・</u>
		 ✓ 経過値を加算する。 経過値種類: 固定 ▼ 固定 経過方向: ◎ 未来 ◎ 過去 経過日時: 0 ↓ 年 0 ↓ 月 3 ↓ 日 0 ↓ 時 0 ↓ 分
		変数 加算対象変数:
		ок <i>キャンセル</i> .::

「経過値」とは、設定した日時(この場合、パソコンのカレンダー機能)から、何日や何時 間など経過した値のことです。これを入力する事で経過値が加算された日時が表示・印字さ れます。

Multi LABELIST V5

「変数名:3日後の日付」として「OK」ボタンをクリックします。

D 変数設定		? 💌
変数の設定を行いま	र्व.	
入力	 一発行時に入力する(I) 	
複写		
結合	印字フォーマット: %YYYY%/%MM%/%DD% …	
連番	経過値: 固定(方向:未来,年:0,月:0,日:3,時:0,分:0) -	
日時		
計算		
シンボル		
-		
	変数名: 3日後の日付 桁数:	10 📜
		+7 \ (+7
		- 200

以下のように設定できましたか?

		 д
□ 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	 	
変数名 区分	桁数 詳細	
③本日の日付 日時	10 日時:基準日付,フォーマット:%YYYY%/%MM%/%DD%	*
▶ ③ 3日後の日付 日時	10 日時:基準日付,フォーマット:%YYYY%/%MM%/%DD%	
1		Ŧ
🔐 ローカル変数一覧 🔄 ローカルテーブル-	一覧 🛂 ローカルチェックテーブル一覧 🗔 ローカルグラフィック一覧	

印字項目に反映しましょう。

それぞれ「本日の日付」と「3日後の日付」というタイトルを付けるため、貼付文字を設定し、その右横に作成した変数を割り付けた文字列を並べましょう。



印字項目に反映できましたか?

ML プリントから、発行枚数を入力して印字しましょう。 印字結果は左のようになりましたか?



以上で「<u>4:バーコードの作成と様々な設定</u>」は終了です。

5:テーブルを作成しましょう

入力されたデータをキーとして、他の値に変換する場合には、「テーブル」を使用します。

それでは、テーブル作成の練習を行いましょう。

1. テーブルの作成

ML デザインで新規にレイアウトを作成します。 プリンタ機種 : L'esprit(レスプリ)T408v/R408v ラベルサイズ : 縦 45mm、横 70mm



画面下部の「ローカルテーブルー覧」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックします。

말 미	ーカルテーブルー	·覧				щ
□ 追加	1 7 💥 編集 削除 エ!	しまた。 クスポート 検索: テ	ーブル名の一部を入力	りしてください 🔳 🖻	? ヘルプ	
テー	-ブル名	テーブル区分	テーブル種類	レコード登録件数		
						*
						*
	ーカル変数一覧	🛓 ローカルテーブル	一覧 🗳 ローカルチ	エックテーブル一覧	💷 ローカルグラフィック一覧	

テーブル項目の入力を行います。

▶ テーブル登録					? 🗙
編集(E) データ(<u>D</u>) ツール(I)					
う で ご 、 ご こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ) 入み 出力 検索:	データの一部を入力して	ください 🔳 🖻	
テーブル種類: MLテーブル ・ 3 フィールド	入力許可項目種: 文:	≠ •	マスクを無効にする		
テーブル名(N): 😲				_	
No. 変換値	変換範囲	条件	変換A	∑换B	変換C
• *			-		*
					Ŧ
▲ テーノルの種類によう C設定項目入力欄の	2月2012 無20かり登れ	うります。			
				ок 🔰	ャンセル

■テーブルの基本情報

項目	説明
入力許可項目種	「変換値」にセットできる値が「数値」か「文字」を選択します。
変換値	発行時にテーブルを呼び出すためのキーとなるものを入力します。
変換範囲	「10~20の値だったらこれに変換する」のように、範囲で指定したい場合の終わりの値を入れます。 例)10~20なら、「変換値:10」「変換範囲:20」とセットします。
条件	「=(イコール)」なのか、「<>(ノットイコール)」を選択します。
変換[A]	入力された変換値の内容を入力します。

テーブル名に「テーブル練習」と入力し、変換値、条件、変換[A]を入力してみましょう。

7	テーブル名(<u>N</u>): テ	-	ブル練習						
	No.		変換値	変換範囲	条件	変換A	変換B	変換C	
	1	1	01		- •	青			*
٠	3	×			-				

以下の様に入力してみましょう。 入力が完了したら、「OK」ボタンをクリックして登録します。

D テーブル登録						? 🗙
編集(<u>E</u>) データ(<u>D</u>) ソ	ソール(<u>T</u>)					
うで元に戻すやり直し	🚺 📈 🗅 毒入切り取り コピー	□ ¥ [貼り付け 削除 取り	み 出力 検索: デ	「一夕の一部を入力して	ください 🔳 🗈	
テーブル種類: MLテー	ブル • AB フィールド	入力許可項目種: 文章	ङ • □ २	スクを無効にする		
テーブル名(<u>N</u>): テ	ーブル練習				_	
No.	変換値	変換範囲	条件	変換A	変換B	変換C
	1 01		- •	青		*
	2 02		- •	赤		
	3 03		- •	黄		
-	*		-			-
•						•
🔔 テーブルの種類に	よって設定項目入力欄の)有効/無効が切り替わ	ります。			
					OK ŧ	ャンセル

以下のようにテーブルが追加できましたか?

ユ ローカルテーブル一覧						
□ 11 業 追加 編集 削除 エク		- ブル名の一部を入力!	してください 🔳 🖻	? ヘルプ		
テーブル名	テーブル区分	テーブル種類	レコード登録件数			
▶ テーブル練習	文字	MLテーブル	3		*	
					•	
₩ ローカル変数一覧	😫 ローカルテーブル-	-覧 🗳 ローカルチェ	ックテーブル一覧 📃	コローカルグラフィック一覧		

2. テーブルの変数を作成する

作成したテーブルを変数に割り当てましょう。 画面下部の「ローカル変数一覧」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックします。

🔐 🗆 -	ーカル	変数一	覧												щ
し 追加	1 〕 編集 :	前 挿入	X 切り取り	0 2Ľ–	<mark>に</mark> 貼り付け	关 削除	検索:	変数名0)一部を入	カして、	ください	4		? へルプ	
変数	姳		区分		析	遨		詳細	Ħ						
															*
															-
@ D·	ーカル	変数一	覧 😫 □·	ーカルテ	ーブル一覧	14	ローカノ	ノチェック	テーブル	一覧	コローナ	ハレグラ:	フィック	クー 覧	

「入力」を選択し、入力変数種類で「文字」を選択、テーブル変換の設定内容をクリックします。

D	変数設定							
変	数の設定を行います	-						
		_						
	<u>አ</u> ታ	자	力変数種	驖(<u>K</u>): 文字	•			
I	複写	編	編集パラメータ					
H	結合		順序	編集内容	設定内容	設定詳細		
I	連番	•	1	テーブル変換	なし・・・			
L B			2	税編集	なし・			
H			3	カンマ編集	なし・			
	計算		4	¥編集	なし・			
L	ミンボル		5	桁寄せ編集	なし・			
	22.100		6	前ゼロ補填	なし・			

「テーブル変換を行う」のチェックを有効にし、テーブル名で「テーブル練習」(<u>5-1.テーブル</u> <u>作成</u>で作成したテーブル)を選択し、セル項目で「A」(テーブル登録時の「変換 A」)を選択し、 「OK」ボタンをクリックします。

D テーブル変換 ?
最初にテーブル変換の有無を選択します。テーブル変換を行う場合は、テーブル変換設定を行います。
テーブル種類: ローカル(L)
◎ グローバル(<u>G</u>): …
テーブル名(№): テーブル練習 🔹
セル項目(<u>C</u>): A ・
他の変数値をテーブル変換のキーに使用する(K):
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
OK キャンセル

変数名に「テーブル」、桁数を「2桁」に設定し、「OK」ボタンをクリックします。

		-	
変数名:	テーブル	桁数:	2 🛟
		_	

以下のように変数が作成されましたか?

🔐 ローカル変数一覧		ф.
□ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1		
変数名	区分 桁数 詳細	
▶ 🛺テーブル	入力 2 入力種類:文字	*
7		Ŧ
🔐 ローカル変数一覧	🞍 ローカルテーブル一覧 🗳 ローカルチェックテーブル一覧 🗔 ローカルグラフィック一覧	

それではでデザインに反映しましょう。

3. レイアウトデザインにテーブルを反映する

オブジェクトバーから文字オブジェクトをクリックし、デザイン画面で印字するところでクリックします。



先ほど作成した変数「テーブル」を、デザイン画面の文字オブジェクトにドラッグ&ドロップして 割り付けます。



エラーとなっていた文字列が「??」となれば、変数の割り当てが完了です。



文字を大きくするために、プロパティウィンドウのフォントサイズを変更します。

基本設定	*
項目名: 文字-1	
データ	
変数 ▼	
変数名: (ローカル)テーブル	
補填 前: 後:	
フォント	
種別: Windowsフォント	•
メイリオ	•
サイズ(pt)	
高さ: 50 🔹 幅: 自動 🔹	
🥅 領域を指定する ————————————————————————————————————	

以下のように表示されましたか?

デザイン 入力]定義 表形式
-10 0) 10 20 30 40 50 60 70 80
10	
	22
20	
	• •
30	
40	
50 3	
	Y: 51.1250, X: 43.0000 件数: 0/1 133% 〇

「テーブル練習」として名前をつけて保存を行い、印字して確認しましょう。

4. テーブル項目を入力して印字する

作成したレイアウトファイルを選択し、ダブルクリックします。



発行画面が表示されます。

P 🗁 • 🗭 💿 • 🚔 • •	テーブル練習(レイアウト) -	SATO Multi LABELIST V5 S	tandard[MLプリント]		- • •
■・ファイル ホーム 編集 表示					۵
田力先 発行開始 発行中止 プレビュー		↓ ↓ ↓ 先頭 前 次 末尾	ページ: 1 / 0 発行	A 25 动作 印字設定 連番設定	
発行	データ	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		設定	
テーブル			📙 基準日付		н ×
·			基準日付: 20	13/01/29	•
			🕞 印刷プレビュー		Ψ×
🛛 フィルタ 💀 クリア					
T (すべて)					
No. 発行枚数					
• *		<u>^</u>			
		Ŧ			
検索:検索文字を入力してください。			ページ:0/0	100% 🖯 🗍	+
💿 データー覧 📄 ログ出力 🗋 エラー一覧					
F1: ヘルプ F2: 開く F3: 次を… F4	:発行 F5:プレー F6	::デー… F7:ファ… F8	3: 一覧… F9: 次の…	F10: 連番… F11: 動作…	F12: 終了
			Les	prit408v ドライバー名	件数:

テーブル項目を入力して確認しましょう。



テーブル項目に「02」と入力すると「赤」が印字されます。



テーブル項目に「03」と入力すると「黄」が印字されます。



以上で「<u>5:テーブルを作成しましょう</u>」は終了です。

6:入力チェックテーブル機能を設定しましょう

入力したデータに様々なチェックを掛けたい場合には、「入力チェック機能」を使用します。 入力チェック機能の中で、入力する値をテーブルに予め登録し、その値以外の入力をさせない場合 には「チェックテーブル」を使用します。

それでは、入力チェックテーブル機能の設定の練習を行いましょう。

1. チェックテーブルの作成

ML デザインで新規にレイアウトを作成します。 プリンタ機種 : L'esprit(レスプリ)T408v/R408v ラベルサイズ : 縦 45mm、横 70mm



画面下部の「ローカルチェックテーブルー覧」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックしま



チェックテーブル項目の入力を行います。

🖸 チェックテー	-ブル登録					? <mark>×</mark>
編集(<u>E</u>) データ	タ(<u>D</u>) ツール(I)					
う C	🎽 🔂 🔏 🕻 直し 挿入 切り取り コ	♪ 💼 ¥ ピー 貼り付け 削除	し し し し し し し し し し し し し し し し し し し	: データの一部を入	、力してください 🛛	
入力許可項目種	: 文字 🔹					
テーブル名(N	<u>i</u>): 😶					
No.	値1	範囲1	条件1	値2	範囲2	条件2
	*			•		^
•						•
- テスト チェック条件	牛: 1 ・ データ: [テスト実行	テ 🕪 テスト結	果:	
					ОК	キャンセル

■チェックテーブルの基本情報

項目	説明
入力許可項目種	「値×」にセットできる値が「数値」か「文字」を選択します。 数値 :入力許可値に数字の0~9が入力できます。 文字 :入力許可値に <mark>漢字、かな、英数字</mark> が入力できます。
值 1	発行時に入力チェックを掛けたい値を入力します。
範囲 1	範囲で値を指定したい場合の終わりの値を入れます。 例として、10~20の場合は「値1:10」「範囲1:20」とセットします。
条件 1	「=(同じ)」または「<>(異なる)」を選択します。

テーブル名に「チェックテーブル練習」と入力し、値と条件は以下のように入力してみましょう。

D チェックテーブル登録						? <mark>-×-</mark>
編集(<u>E</u>) データ(<u>D</u>) ツー	-ル(<u>T</u>)					
 う で ご 元に戻す やり直し 挿び 	1 み D 入切り取り コピー	💼 🗰 🕻	●	ータの一部を入力して	ください 🔳 🕨	
入力許可項目種: 文字	•					
テーブル名(<u>N</u>): チェッ	ックテーブル練習					
No.	値1	範囲1	条件1	値2	範囲2	条件2
1	目黒		- •			* _
2	渋谷		- •			=
3	新宿		- •			-
4	池袋		- •			-
*			•			
•	m					•
テスト チェック条件: 1	 <i>デ−</i>タ: 		テスト実行	📫 テスト結果:		
				(OK ‡t	·>セル

2. チェックテーブルの変数を作成する

作成したチェックテーブルを変数に割り当てましょう。 画面下部の「ローカル変数一覧」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックします。

🔐 🖸	ーカル変数	如一覧								4
□ 追加	11 🗋 編集 挿2	- X 切り取り	10 10	※	検索: 変数名の-	-部を入力し	てください		? ヘルプ	
変数	数名	区分		桁数	詳細					_
										*
				4						*
	ーカル変数	9-15 🗳 🗆 - 19	-カルテーブル-	覧 🗳 🗆	ーカルチェックテ	- ブル一覧	ニョローカル	グラフィック	ク一覧	

「入力」を選択し、入力変数種類で「文字」を選択します。

D 変数設定					
変数の設定を行いま	ます。				
	_				
ኢታ	λ	力変数種	類(<u>K</u>): 文字	•	
複写	編	集パラ>	<i>K</i> -タ		
結合		順序	編集内容	設定内容	設定詳細
連番		1	テーブル変換	なし・・	
		2	税編集	なし・	
日時		3	カンマ編集	なし・	
計算		4	¥編集	なし・	
ミンボル		5	桁寄せ編集	なし・	
		6	前ゼロ補填	なし・	

変数名に「チェックテーブル」、桁数を「6桁」に設定し、「OK」ボタンをクリックします。

赤海タ・チェックテーブル	おけます。	6 *
支払行・デエッジアージル	111324.	• •

Multi LABELIST V5

以下のように変数が作成されましたか?

🔐 ローカル変数一覧				4
□ 11 □1 追加 編集 挿入 切	🔏 🖸 💼 り取り コピー 貼り付	¥ は 削除 検索: 変数	名の一部を入力してくだる	さい ミ ト ? ヘルプ
変数名	区分	桁数	詳細	
・ ペーチェックテーブ 川	レ 入力	6	入力種類:文字	*
1				Ψ.
🔐 ローカル変数一覧	😫 ローカルテーブル-	-覧 🗳 ローカルチェ	ックテーブル一覧 🗔 🗆]ーカルグラフィック一覧

それではでデザインに反映しましょう。

3. レイアウトデザインに作成した変数を反映する

オブジェクトバーから文字オブジェクトをクリックし、デザイン画面で印字するところでクリックします。



先ほど作成した変数「チェックテーブル」を、デザイン画面の文字オブジェクトにドラッグ&ドロ ップして割り付けます。



エラーとなっていた文字列が「????」となれば、変数の割り当てが完了です。



表示されましたか?

では、「入力定義」に切り替え、入力チェック設定を行いましょう。

4. 入力チェック設定を行う

レイアウト画面上部の「入力定義」タブをクリックし、画面を切り替えます。

3	デザイン	入力定義	表形	式														6
	チェック	テ ーブル		:::	:::	::		::	::	::	::	::	::	: :	:	: :	::	자
	XXXXX	× <mark>-</mark> ::::		••••	:::	•••	•••	•••	÷÷	÷÷	::	÷÷	::	•		::		基
•	:: :			:::	:::	::		::	::	::	::	::	::	: :		::	::	T
:	::::	:::::	::::	:::	:::	::	:::	::	::	::	::	::	::	::		::	::	
÷				:::	:::	::		::	•••	::	::	::	::					
Ŀ				:::	:::	::		::	::	::	::	::	::	: :		::	::	6
:	::::			• • •	• • •	•••		••	•••	•••	•••	•••	••	• •	•	•••	•••	
(and a													منسنه			غمغ		H I
	No.	発行枚数					• • • •				••••							
	No.	発行枚数 XXXXXX															*	Í
	No. 1 2	発行枚数 XXXXXXX 2															^	
	No. 1 2	発行枚数 XXXXXX 2															A	
	No. 1 2	発行枚数 XXXXXXX 2															^	
	No. 1 2	発行枚数 XXXXXX 2																i.
	No. 1 2	発行枚数 XXXXXX 2															^	
	No. 1 2 チェック	発行枚数 XXXXXX 2 7テーブル	6桁				£(10	0%)) 1(00%	60)		0			·	

入力チェックを設定する項目をクリックします。

デザイン	入力定義	表形式											
デェ함ク - <mark>1</mark> xxxxxx ローロロー	テ _ロ ブル ×												
No.	発行枚数		 	 	 		 	 	_	 	 		1
1	XXXXXX											*	
2	2												
	1												

プロパティウィンドウの入力チェックをクリックし、設定画面を開きます。

基本設定		*
項目名: チェック	クテーブル	
区分: ヘッダ	対象: ローカル変数	
入力項目		
項目名表示:	入力フィールドの上に表示	•
テーブル表示:	なし	
編集表示:	なし	
入力チェック:	なし	
入力桁数制限:	あり:6桁	•
フォント		
リスロオ		-

「入力チェックを行う」を有効にし、その他チェック種別で「チェックテーブル」、テーブル名で 「チェックテーブル」(<u>6-1.チェックテーブル作成</u>で作成したチェックテーブル)を選択し、条 件で「1」(チェックテーブル登録時の「値 1」)を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

 入力チェック ② 	×
最初に入力チェックの有無を選択します。入力チェックを行う場合は、入力チェックの基本設定とその他チェック設定を行います。	
【 図 入力チェックを行う(I) 】	
基本設定	*
入力タイプ(I): チェックしない ・	
□ 入力されていない場合はエラーにする(N)	
全桁入力されていない場合はエラーにする(E)	
その他チェック設定	*
その他チェック種別(<u>○</u>): チェックテーブル ・	
テーブル種類: ^{● ローカル}	
◎ グロー/ いL: ···	
テーブル名: チェックテーブル ・]
条件: 1 -	
	-

入力定義画面に戻りましたら、画面上部のリボンの「発行動作」をクリックします。



「発行動作設定」画面が開きますので、「入力設定」項目をクリックし、「入力時にデータのチェックを行う」にチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックします。

▶ 発行時動作設定				
発行画面からデータを入力する場合の動作を設定します。				
 発行動作 入力設定 ヘッダ・テール札出力 エラー処理 その他 	 入力項目の初期値を表示するタイミング ヘッダエリア(且): 画面を表示したとき 行エリア(民): 入力項目がフォーカスを受け取るとき ✓ 入力時にデータのチェックを行う(I) データ桁数分フルに入力した場合に、次の項目に移動する(N) 	•		
	ОК	キャンセル		

設定が完了したら、「チェックテーブル練習」として名前をつけて保存を行い、発行画面で確認しましょう。

5. 発行画面で入力チェック機能を確認する

作成したテーブルファイルを選択し、ダブルクリックします。



発行画面が表示されます。

📔 📄 • 📳 💿 • 🖨 • = チェックテーブ	ル練習(レイアウト) - SATO Mul	lti LABELIST V5 Standard[MLプリント]		
■・ファイル ホーム 編集 表示			۵	
田田 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正 正	 	発行動作 印字設定 連番設定 設定		
チェックテーブル		2 基準日付	₽ ×	
		基準日付: 2013/01/29	-	
		▶ 印刷プレビュー	Ψ×	
🗵 フィルタ 💀 クリア				
T (すべて)				
No. 発行枚数				
, *				
検索: 検索文字を入力してください。		ページ:0/0	+	
◎ データー覧 📄 ログ出力 🗋 エラー一覧				
F1: へ… F2: 開く F3: 次… F4: 発行	F5: プ… F6: デ… F7	7: フ··· F8: 一··· F9: 次··· F10: 連··· F11	:動… F12:終了	
		Lesprit408v ドライバー	-名 件数:	

入力チェックテーブル項目に値を入力して「入力チェックテーブル」で登録した値以外を入力した 場合に、チェックが掛かるか確認しましょう。

今回、入力チェックテーブルに登録した値は以下の通りです。

	No.	値1	範囲1	条件1
٠	1	目黒		- •
	2	渋谷		- •
	3	新宿		- •
	4	池袋		- •

チェックテーブル項目に「目黒」と入力すると、チェックは掛からず、入力できます。

チェックテーフ 目黒	ブル	- 2
🛛 フィルタ	▽ 診クリア	
 フィルち 	マ 診クリア (すべて)	
X フィルタ T No.	▼ うつりア (すべて) 発行枚数	
X フィルタ T No. I	 ア ラクリア (すべて) 発行枚数 1 1 	

チェックテーブル項目に「大崎」と入力すると、チェックが掛かり、入力チェックのエラーメッセ ージが表示されます。

チェック 大崎	テーブル			
			MLプリント	3
X 7	イルタ 🗔 ク	עי	入力チェック'チェックテーブル'エラーです。	
T		(オペア)		
·		(9/(0)	ОК	
No.		発行枚数		
r	1			
	*			

以上で「<u>6:入力チェックテーブル機能を設定しましょう</u>」は終了です。